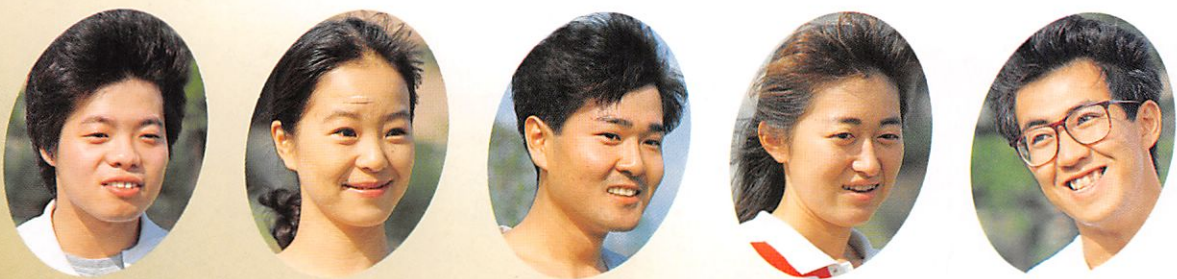


# ZOOM UP

東日本学園大学  
歯学部附属病院



1990. No. 72



## 歯界展望

札幌市街から車でおよそ40～50分。広大な平野を自由に使ってレイアウトされたようなキャンパスは、文字通り“学びの園”にふさわしい環境。正門の目前にはカラフルな駅舎が建ち、駅名も「GAKUENMAE」とローマ字で大きく書かれている。

飛行機の都合でアポイントの時間に多少遅れたが、「やあ、いらっしやい」と友人でも迎える雰囲気であられた富田歯学部長。口腔外科医の第一人者、元北大歯学部長として道内はむろんのこと、全国的にその名が知られている権威者とは思えない気さくさで、思わずホッとする。



東日本学園大学 歯学部長

## 富田 喜内

本学の特徴を「薬学部と併設していることで全国屈指のアイソトープ研究センターや膨大な本が収められている図書館などのあることですが、何より素晴らしいのは、この北海道の自然と市街まで僅かの時間で行ける抜群な環境ですね。冬は確かに厳しいが、空気は美味しいですよ。」

お生まれは埼玉県。お兄様が「医科歯科大で学んでおられた影響で、同大に学ぶ。「私が学んだ時期は、戦中から戦後の頃でしたので、勤労働員ばかりで、生活は大変でしたが、若さもあり、けっこうそれなりに日々をエンジョイしておりましたね。その頃の同僚が、その後創設された私大の歯学部指導者として出て行き、今では各要職についておりますが、いつまでたっても友人としてザックパ

ランに話が出来るうれしいですね。」現代学生気質について「気持は非常に良いのですが、甘ったれな子が多いみたいですね(笑)。人の力を借りて、なるべく他人にやってもらおうと…。自ら苦勞をするのをイヤがるんです。唯し、私達が勉強した頃と比べると、内容や範囲、また科目一つについても細分化されてきましたので、勉強は大変です。今後は更に“医学の一部としての歯学”という認識が顕著になって来ましたので、隣接医学の勉強も、と生涯研修が一層大切になって参りました」。そうした環境下で、生涯学習の一端として今年10月1日“あいの里”に開設された「東日本学園大学医科歯科クリニック」には「内科、

小児科、整形外科と共に一般歯科、小児歯科、矯正歯科も同時開設しました。特に歯科部門では、生涯教育の一環として、卒業直後の研修だけでなく、既に開業されている歯科医、さらには歯科衛生士や技工士等、歯科医療界で働いておられる方々が自由に参加できる施設です。内部には最新の機器・器材をはじめとして、薬剤に関する情報室も設けております。優秀な先生方も揃っておりますし、本校卒業生に限らず皆さんぜひご活用頂きたいですね。ご専門の口腔外科とインプラントについて「私の学んだ頃は、例えば小児の口蓋裂についても、局所麻酔しかありませんでしたので、手術は7～8才以上にならなければ出来ませんでした。が今は全身麻酔で1～2才で可能となりました。医学の進歩は私達に素晴らしい幸せを与えてくれますね。インプラントについても、私は、昔は歯を抜いたら義歯を入れるという過程が、現在は、抜いたら一度人口歯根の歯を入れて、その後義歯へと進むという、ワンクッションを置くための手段と考えることが必要で、インプラントをやったから一生大丈夫とは云えないのではないかと思います。顎堤の低い人には、顎堤部に粉末状のアパタイトなどを入れ顎堤を形成した後、床義歯を作製するというのもやっておりますし…。私は、キチンとしたところでキチンとした治療をうければ、問題はないと思います。歯科治療における一つの素晴らしい道・流れが出来たのでは、と思っております。当方の矢つぎ早やの質問にも、丁寧にキチンとお答え下さる。

歯科医師過剰と盛んに云われております

が、その現状をどう思われておりますか？  
「確かに都市部やまた以前のように1日100人近い患者を診ていた時代に比べれば、患者数は減っていると思いますが、当校の求人を見てみましても、歯科医が足りないから来て欲しい、というところが結構多いんですよ。また、近隣国などでは人口10万人に対し約1人の歯科医師という程、困っている所もあります。最新医学を身につけた方達が、国内だけで多いと云っていないで、事情は色々あるんでしょうが、そうした恵まれない国に行き人々を助ける。医療人として大切なことではないでしょうか。開業されている先生方に今後の展望を。「インフォームド・コンセント(説明と同意)といわれる時代で、歯科医師としての教養と患者の立場に立ち相手に理解出来るような説明が開業医には大切な時代となって来ました。そうした意味を含めて、医師、医療とは何かを考え、先程云いましたように、生涯勉強をし続けることを身につけていって欲しいし、医師という職業を選んだ以上、それが当然だと思うのです。名人芸が良しと云われ、勘にたよっていた歯科医療人から、機器を駆使し、心と身体の双方から患者を診る近代的歯科医療人へと。機会をとらえて勉強して欲しいと思っております」。今年65才。北大時代のお弟子さんの「富田会」と呼ばれる集いには、100人以上の方々が出席されるという。「皆さん、今ではそれぞれ主要なポストにつかれ、地域歯科医療の為に尽くしておられます。そんな時ですね、本当に教育者になって良かった、と感じるのは…」“実るほど頭をたれる稲穂かな”。初秋の北国に実る稲と先生の顔がフッと重なった。

### ●略歴

- 大正15年2月 埼玉県浦和町に生まれる
- 昭和22年3月 東京医学歯学専門学校(校名変更) 歯学科卒業
- 昭和26年10月 東京医科歯科大学 歯学部 口腔外科学第二講座助手
- 昭和30年8月 医学博士(東京大学第6256号)
- 昭和32年4月 東京医科歯科大学 歯学部 口腔外科学第二講座講師
- 昭和40年7月 北海道大学医学部助教授
- 昭和42年6月 北海道大学歯学部 口腔外科学講座教授
- 昭和42年7月 北海道大学歯学部附属病院院長(46年4月まで)
- 昭和42年10月 北海道大学歯学部代理  
北海道大学歯学部代理(42年11月まで)
- 昭和46年5月 北海道大学代理
- 昭和50年1月 日本歯科インプラント学会顧問
- 昭和52年5月 歯学部附属病院院長(56年4月まで)
- 昭和57年10月 アメリカ合衆国へ出張(オレゴン・ヘルス・サイエンス大学歯学部)
- 昭和59年1月 日本口腔外科学会会長
- 昭和60年4月 東日本学園大学副学長兼歯学部長兼任、現在に至る

# 社団法人 岩手県歯科医師会

会 長／赤坂 栄吉  
 副 会 長／曾根 良三  
 副 会 長／西郷 恵彌  
 専務理事／横矢 久  
 常務理事／金子 康雄  
 常務理事／吉田 稔  
 常務理事／岡田 宗二  
 常務理事／西郷 典安  
 常務理事／横沢 昭平  
 常務理事／箱崎 守男  
 常務理事／鈴木 雅夫  
 常務理事／今井 康雄  
 理 事／堀米 栄一  
 理 事／千代川泰久  
 理 事／菅野 博之  
 理 事／小守林尚之  
 理 事／村木 正昭  
 理 事／佐々木隆博  
 理 事／鈴木 哲男  
 理 事／北井 善祐  
 理 事／前田 秀晴  
 監 事／福成 覚  
 監 事／宮田 欣一  
 監 事／照井 安彦  
 顧 問／佐藤恭一郎



北上川と中津川の合流点に位置し、東北観光の基地として発展した盛岡市。岩手県歯科医師会館は、およそ400年前に南部氏によって築城された城祉公園にほど近い静かな住宅街の中に建っている。薄茶をベースにした3階建の建物は、県歯会館としては決して大きくはないが、附近の建物と調和し、落ち着いた風格と品位を漂わしていた。

夕刻から始まった定例理事会には、広大な面積を有する県下ゆえ、役員の方々もさぞ大変だと思われたが、全員ご出席され、熱心に討論されていた。

会議終了後、赤坂会長、曾根、西郷両副会長、横矢専務理事の4名の方々に、県歯の概要、活動状況や問題点、又将来に向かっての展望、考え方をお話し頂いた。

尚、今回の取材につき、夜遅くまで居残り総てを御手配下さった、事務局職員の皆様には、誌上を借りて御礼申し上げます。

**編集：**県歯の歩み、概要等も大切ですが、会長は永年日本歯科医師会の代議員としてご活躍されております。そこでズバリ、読者の先生方から、日歯の方針や展望、又一般開業医の意見が上層部につながらないとの声が最近多く聞かれますので、これ等についてお話を頂きたいのですが…。

赤坂：え、その点については私も会員の方々と話をしていて強く感じています。日歯を初めとして、各都道府県の役員の方も懸命に努力はしておりますが、残念ながらあまり成果は上がっていない様です。その良否は別にして、執行部体制が以前のまゝのルールの上をただ走っていることが大きな原因だと考えています。歯科医療界をとりまく環境も国民の生活様式もどんどん変わって来ているのに、その対応策が以前のまゝなら、その双方から不満が出るのは当然です。私達役員がこうした実状を真剣に考え、会員の意見や総意をまとめ厚生省、国民に訴える

会  
長／赤坂栄吉



努力を自ら行動に移すことが最も大切だと考えます。

**編集：**その具体的方法として、会長はどのように？

赤坂：私はこれがベストであるかどうかは別にして、毎年県下14支部の一つ一つで懇談会を開き、会員1人1人から日歯、県歯の問題点や相談ごとを受ける会を開いております。それも相手(会員)が緊張すればザックバランな話が出来ません。私と事務長の二人きりで出掛けるようにしています。内容は今すぐ実行されるケースでなくとも、その問題点の考え方や実状、又解決努力が、現在どのように行われているかをじっくり話し合います。1つの支部で40以上の質問を受ける場合もありますが、それだけ会員の方々は多方面で不満を持たれているのですから、それを汲み上げ中央につなげるのが大切であると共に私の役目だと思っているからです。毎回、各支部の会場には90%以上の方々が出席されますが、悩みはそれだけ深いのです。又、毎年若い人達のためにスポーツ大会を開催。今回は11地区から12チーム220人近い方々が集まり2日間にわたって野球大会を開きましたが、親睦会で各テーブルを回りますと、普段聞かれない様な色々な話しが聞かれ大いに参考になります。要は、会とは誰の為に、何の為にあるのか。執行部を含め、歯科医師はその原点にたつてもう一度考えなおすことが、今こそ必要なのではないかと思っております。

**編集：**有り難うございます。では岩手県の歯科医師の現状とご活躍状況を。

赤坂：現在、県民143万人を525名の会員でカバーしておりますが、ここ盛岡市内部は約23万人に対し開業歯科医師125プラス医大歯学部病院と、かなり過密な状態に入っております。会館もご覧のように多少手狭になって来ておりますが、これ以上会員の方々に負担をかけてはと思ひ移

築や増館は全く考えておりません。活動状況は、①学術講演会を盛岡市で1回、地方で1回毎年開催、②卒後研修会を年3～4回なるべく小人数で中味の濃い有料研修会を開催。過去3カ年で110名の受講者があり好評のようです。その他各県でも実行されているように色々ございますが、当県では行政側との理解、融和を図るために、歯科医師を県の行政に保険課を含め3名置いております。こうすることによって、お互いの事情、接点がよくわかりますし、その成果も上がっているようです。

編集：では、へき地学校歯科巡回指導車、その先駆となった岩手県の実状を會根副会長から。



副会長／會根良三

會根：ご存知のように当県は四国4県にも匹敵する程広い面積を有するものですから、昭和46年当時は無歯科医地区が200地区もあり、とても児童までは手が回らない実状でした。それで県教育委員会が中心となり文部省、県行政と接渉、合わせて875万円で購入、ユニットを取り付け、「けんこう号」と名付けてへき地歯科診療に乗り出したのが最初でした。以来車も3代目に入り年月も20年近くなりました。その間運行した日数は昨年までで2,228日、受診者数150,705人、歯科医師数3,848名、学校数4,655校となり、多大な効果を発揮しました。しかし近年は、道路状況も良くなると共に、歯科医院も出てきましたので、この指導車を県内の歯科向上の為の啓蒙活動車として利用。治療のかたわら、衛生指導や予防の普及活動にあてております。各地域の先生方が気持ち良く協力してくれますし、又児童とは顔見知りになりますから、その医院に通院するという効果が重なり、成果があがっています。最初は色々問題も多く抱えましたが、永年の活動が実を結ぶと共に、歯科医への理解も深まったことが非常にうれしいですね。

編集：最近多くなった寝たきり老人家庭訪問歯科診療については、いかがですか？



副会長／西郷惠彌

西郷：高齢化社会を迎えて、各県、市町村等による寝たきり老人歯科の取り組みが全国的な広がりを見せておりますが、当県でも、昭和62年に二戸(にのへ)地区で実態調査を実施。その報告から、63年度は一関市と共同で、3カ年にわたって家庭訪問診療事業を実施しております。昨年までの活動結果は、総患者数34名、診療日数183日、患者1人平均5.4日、となっておりますが、最高で21日を数える患者もありました。世の中の実状と住民への奉仕のために、今年盛岡市、水沢市においても実施され始めましたので、今後は更に大きな波紋となって広がっていくことと思ひますし、こうした活動が住民の歯科医師への信頼となって次の世代により良い結果をもたらすことが出来たら、と思っております。

編集：では最後に会のまとめを横矢専務理事をお願い致します。

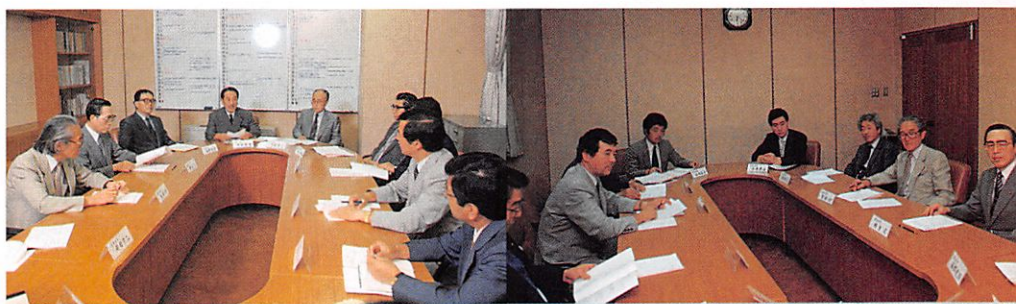
横矢：当県は先程会長から話がありましたよ

うに、会員相互の理解、協力、まとまりも良く、その点我々執行部も感謝しております。たゞ会員の平均が40～42才と若いので、将来は苦しくなるのでは、と考えております。各部の活動状況は先程会長の説明他、色々ありますが誌面の都合もあるでしょうから(笑)、その中から、特に社保頻度別実態調査の実施をお話したいと思います。これは各県の診療所の



専務理事／横矢久

レセプトを専門員が分析し、内容を医師に把握させるものです。それによって、自院はどんな治療が多いのか、他と比べてどんな状況になっているかを客観的に見る事が出来ますし、将来の方向をどのように持って行くことがベストかを考える事が出来ます。とかく孤立化しがちな我々の職業。その中で我々役員がどのように会員の為に役立つ事が出来るのか。会長の人柄もザックバランで行政側、又会員の皆さんにも評判が良いので、私も内部の固めを中心に、理事の方々と共により信頼される会の向上に努力して行きたいと思っております。



〈診療室拝見〉  
菅齒科医院

愛媛県宇摩郡土居町津根894-2

院長 菅 彬



四国山地が段丘となってゆるやかに瀬戸内海に下る海外線に沿って点在する家並。ご紹介の土居町・菅(かん)歯科医院は、この僅かな平野部を走る国道11号線から1本入った風光明媚な静かな高台にある。診療室に続いた戦前お父様が開業されていた母家は、今でこそ草がはえ手入れ不足を思わせるが、瓦1つ1つにも風情があり、地方の名家の名残りとどめている。

診療所外観も、いま流行の、とは決して云い難いが、50年以上続いた医院らしい雰囲気・落ち着きを感じさせる本格的な鉄筋作り。が中に一步入ると、外観とは逆に、忙しそうに動き回るスタッフ、溢れる患者さん、壁面には歯科医師会やメーカーのポスター、規約、注意事項等が所狭しと貼られ、周辺環境とのギャップに驚かされる。

待合室、診療室とも床はアイボリー。キャビネット、消毒コーナーは明るいブルーで統一。窓側に沿って、ブルーとアイボリーのスマイリーN3台、更に別室に2台。院長のお話によると8月にドクターが1名入るので窓に沿って増設、もう3台のユニットが追加されるとのこと。当誌が発行される頃には計8台のユニットと増員スタッフで、更に活気のある医院へと発展していることであろう。

院長は九州歯科大学を卒業後、松山通信病院に4~5年勤務。その後ハワイとシアトル(米国・ワシントン州)の大学に留学。矯正学の勉強で4年半程過ぎ。途上お父様の急病

で帰国、そのまま診療所を引き継がれた。現在は、日本臨床歯科インプラント協会副会長を初め日中友好口腔先進医療協会会長や中国医科大学客員教授等、日本を代表する歯科医師の1人として活躍中である。読者の中にもおそらく先生の名前、又講演や指導を受けられた方々が勢おられることであろう。名実共に実力派である。

現スタッフは医師3名、受付・助手6名、技工士1名の総勢10名の陣容。

**Q：日進月歩の歯科医療。入局される若い先生方の教育については？**

院長：いずれは自分で開業しようとする人達ですから、補綴、保存、矯正、インプラントその他歯科に関するあらゆるものを勤務医時代に身につけることを強く云います。患者が来ても、知らない出来ないでは許されませんし、第一信用がなくなります。治療の評価は患者自身の口から口へと伝わり、しっかりとした治療をすれば必ず紹介により次の患者が来ます。その逆もあるわけですから、とにかく当院に入った以上はオールマイティの実力を身につけて欲しいと…。そして勤務医の最後には、アメリカにいる友人のところに2~3ヶ月、視野を広げる勉強にいかせたいと思っています。当院に勤務する以上通常なら3年かかるものを1年半から2年で学べと…。ですから私の教育

は厳しいですよ(笑)。

**Q：それが、裏がえせば真の愛情でしょうね。**

院長：それは私自身の評価というか、責任にもつながるのです。こゝに3年も勤務してまだあの程度か、と云われたらそれは私の指導の悪さ、評価でもあるのです。

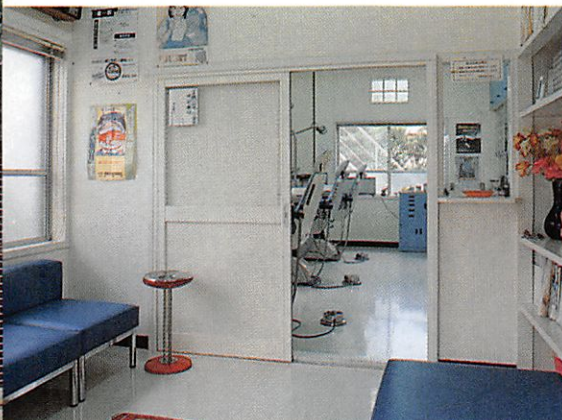
**Q：経営面での指導は？**

院長：保険制度の良否は後にして、私はたとえ保険であろうとも、常に最高の治療、それだけを考えて治療をしと…。若い内に手抜きを考えたり、お金の計算ばかりをすれば、開業後もついその方に頭が行ってしまい、結局それは信頼を失うという形で自院に返って来ます。

**Q：外部講師については？**

院長：私も丁度50才になりましたので、これを区切りに、又基礎から歯科医学の勉強をしておそうと…。今月から補綴の第一人者と私が信じる阿部先生とエンドの東海林先生に、毎月1回土・日にかけて当地にお出掛け頂き、臨床の実際をみっちり勉強しようと思っております。今治方面や周辺の先生も、ぜひ、ということで10人程集り勉強会を開きます。地域の住民は医師も勉強の機会が少ないし、それだけに第一線の医療の恩恵に俗する機会も少ないわけです。それを私は実現させてあげたいと…。私の最後の信念ですよ(笑)。

**Q：周辺の歯科医師数と患者層、患者数は？**



# KAN DENTAL CLINIC



院長：人口19,000人で歯科医は3軒。現在は過密というほどではありません。層は漁業就労者、近くの製紙工場勤務者とその家族の人達が多いですね。数は1日3人で55名前後ですから、あまり多くはありません。私は1人の患者に時間をかけても良いから、通院回数を極力少なくし、5本治す箇所があれば1回に5本治す、しかも満足感を与える治療をと…。これが最も大切だと思っておりますから…。ただ都会地と違って、中年以降の方は口腔衛生にはあまり関心がない様で、それが少々(笑)…。

Q：若い先生方は、先生の頃と違って学ぶことが多くて大変、と思われませんか？

院長：いいえ、古い古いと云われるから昔のことは云いませんが(笑)。今は咬合器やゲージ等何んでも機器が揃っておりますし、私はそう思いませんね(笑)。今は自身の腕に関係なく確実に、しかもキチッとやれば大きな失敗は全くありませんし、短時間で出来ます。又、昔と違って、ドクターとテクニシャンの仕事がはっきりとわかれていきますから、若い方にも云うのですが、印象やバイト一つでも、テクニシャンに渡す時、「この先生はすごいなー、自分も性根を据えて仕事をしなければ大変なことになるぞ」と思わせるだけの力を持つてと云います。彼等も良い仕事をしたいと思っていますし、口では云

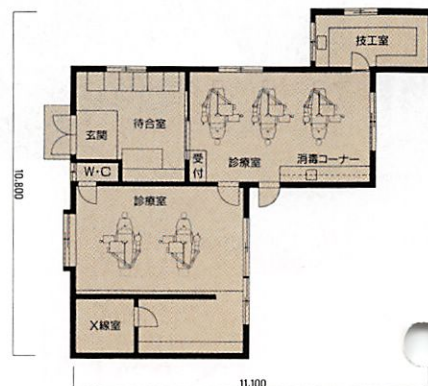
わなくても、心でその先生の実力を推し量っていますからね。

Q：保険制度については？

院長：先に話しましたように、保険だから一生懸命やらない、というのでは医療従事者という点で失格です。たゞ、制度の中味、例えば卒業したての歯科医も大学教授も、患者数が多くても少なくとも初診は160点などという矛盾な点は多くありますね。風船みたいにこちらを押し上げたらこちらが下がるみたいナ。何か小さい箱の中をいじくり回しているような。小さいところをいじくっている我々が、もっと小さくなってしまいます。云い方は極端かも知れませんが、歯医者者をなめるナ！と時々云いたくなりますよ。

Q：オサダのスマイリー-N、ご使用感は？

院長：どんなに高い外国製品に座らせても、自身の技術が未熟なら患者は寄りつきません。私は開業以来オサダですが、台数が多くなればなるほど全体の故障率は高くなるわけですから、最も故障率の少ないメーカー1社で統一すればアフターケアにおいても万全を期してもらえます。私自身も物事に凝るほうですが、ひたむきに一生懸命やっている企業姿勢がオサダにはありますし、それが又好きですね。

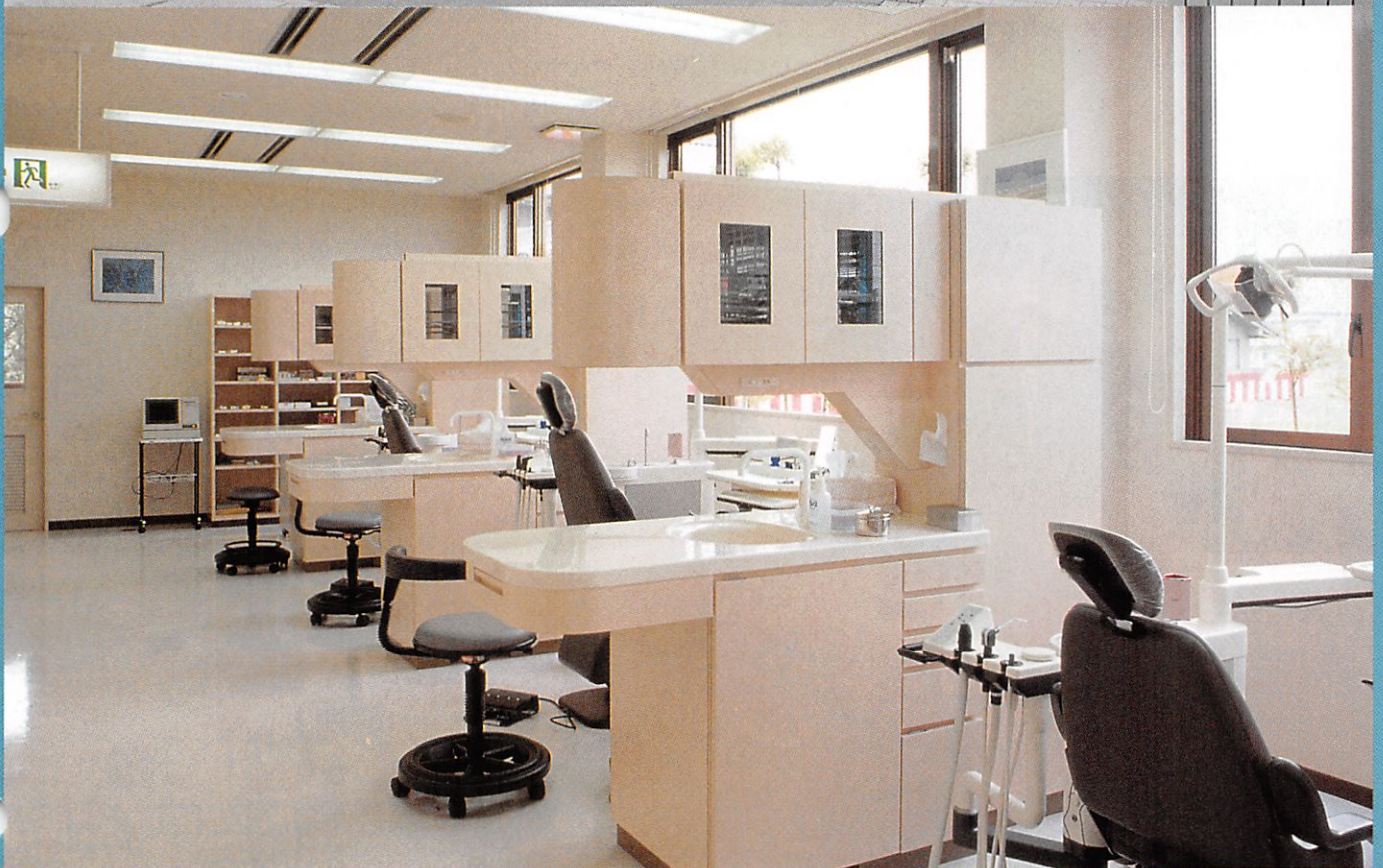


〈診療室拝見〉

# テラチ歯科

広島県福山市東深津町3-125

院長 寺地睦久





新幹線・福山駅から車でおよそ10分。山陽本線・東福山駅なら、たった800mの近さ。広い県道に面して建つ明るいイメージの建物と、青地に白スキ文字の表示は、そのまま郊外フランス料理店にしても通用するモダンさだ。前面はゆったりとした駐車場と駐輪場、玄関アプローチは階段式と身障者用のスロープ状の2通り。

風防室から待合室へ。道路を隔てた前方は、斜め横にある遊園地「メモリアル・パーク」と天満屋流通センターの広々とした駐車場。その彼方には高架を走る新幹線が往き来する。借景ではあるが、初秋の青空とマッチして、その眺望は医院の主、好感青年そのままの寺地先生のような爽やかさだ。

待合室は薄いピンクの床にクリーム色の椅子。片スミには、子供さん、お年寄り、また身体の不自由な方など、多目的に使用出来る3帖ほどの畳コーナーが設けられている。

受付は素通しガラスを使用した窓口方式を採用。

診療室は窓側に沿って各ユニットごとに手洗い、滅菌消毒器、器材その他収納出来る間仕切り兼用のキャビネットコーナーが設置されている。ご使用のユニットは、いま好評のグレーのスマイリー<ファイン>L型3台。色彩は総て中間色を使用。清潔なイメージの中にも暖かい雰囲気を採り入れる気がばりがなされてある。

ユニット前面の大きくとった窓からは、

青々とした田園風景が広がり気持ち良い。

院長は昭和55年岐阜歯科大学(現朝日大学歯学部)を卒業。その後岡山大学歯学部口腔外科学教室に3年、歯科保存学教室に7年、講師を経て、今年3月退職。

5月に開業されたばかりのホヤホヤ医院であるが、経歴が示すよう歯科医師としての実力は充分。

**Q：10年の研究と臨床生活。治療には全く不安はありませんね。**

院長：その間、鉄道病院など2ヶ所2年の学外臨床に携わりましたので、色々な治療ケースにはぶつかりましたが、ただ経営となりますと全くの素人で…。手さぐりでボチボチの状態ですね(笑)。

**Q：広い土地に素晴らしい診療室。自力ですか？**

院長：実はこの土地は当家が先祖から持っておりまして。以前よりダイワハウスに営業所として貸しておりましたが、同社がリビング・ショールームを建てることになり、もし使わないのならその続きのこの土地に作りたいとの話がありましたので、親も地元に戻って開業を、と望んでおりましたし、またこれが最後のチャンスだと云われ、急ぎよ開業することになりました。

**Q：この辺も歯科医院が多いのですか？**

院長：そんな訳で、患者層の事前調査もせず

に開業してしまいましたので…。500m以内に2軒ほどありますが、私の方が先輩ですし、周りの医院にはご迷惑をかけるまいと、謙虚な態度で、ゆっくりやっというと思っております。昔は一面の田圃だったんですが、天満屋デパート駅前店が工事のため、2~3年間この前に仮店舗を出しました。それからですね、この辺りが埋め立てられ、発展を遂げたのは。

**Q：スタッフと患者数は？**

院長：衛生士3名と技工士1名。患者数は1日20~25名ですね。大学時代は研究と教育にウエートをおいておりましたので、1日10人も診なかったのが今は大変ですよ(笑)。

**Q：今はスタッフ集めも大変だと聞きます。当院は？**

院長：衛生士は友人や知人からの紹介で。技工士は、やはり友人からの紹介で、仕事をもっているにもかかわらず、頼んで来てもらいました。労働条件とはお金ばかりではなく、休日や勤務時間、医院の雰囲気等、色々あるようです。雇う側はそうした現代の風潮、若者気質をよく理解することが必要なのではないでしょうか。

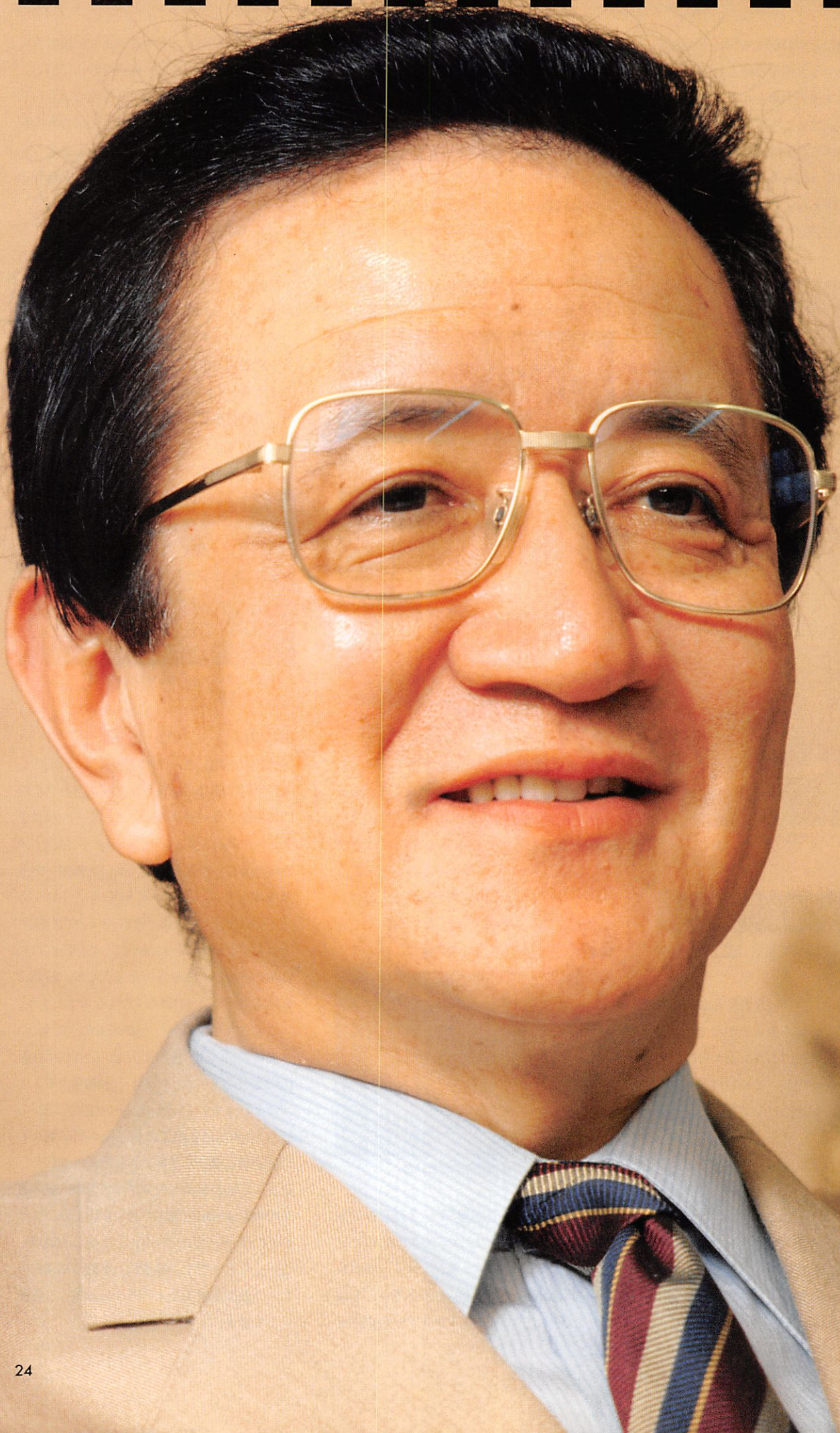
**Q：診療室設計にあたっては？**

院長：ビルの一角ですので大きさは限られていましたが…。医院はとにかく、冷たく、暗く、そして痛いというイメージがあり



TERACHI





# 飯野健志先生 の巻

石川県金沢市本多町3-10-6

金沢城と兼六園の間を南北に走る本多通り。付近は北陸放送をはじめ、県立図書館、観光会館、美術館等が並び、文化都市金沢の中でも最も金沢らしい雰囲気漂わす街区である。その通りに面した飯野歯科医院も木々の間からスペイン瓦・3階建の屋根からツタの葉が落ち、モダンな中にもしっとりとした落ち着きを見せている。

今回は、テレビ、雑誌等マスコミで活躍中の松尾通先生のリレーにより、北陸金沢でご開業中の飯野健志先生をご紹介します。

先生は皆様もご存知のように数年前に新聞でも紹介された歯の移植では自他共に認める第一人者。従って、患者さんも、その逆ならわかりますがと先生もおっしゃるが、東京や大阪の大都市圏から飛行機を使って来院されるようだ。近年急速に進歩かつ脚光を浴びているインプラントにおいても、日本口腔インプラント学会常任理事、日本臨床歯科インプラント協会副会長等で大活躍。そのたつ今週は大阪、来週は東京、秋には中国にも指導講演と、スケジュールはギッシリのご様子。実力・学術共に脂に乗り切った58才だ。

「今や完全に市民権を得たインプラントです。私も毎日2〜3例は施術しておりますが、患者さん1人1人の口腔状態をキチッと把握した後でなければ、安易にやるべきではありません。協会においても現在100時間コースの講義、臨床の勉強機会を設けておりますが、そうしたチャンスに出席し、ぜひ今後に備えて頂きたいと思っております。当り前ですが、失敗は許されませんし、情報で知った患者さんの要望も益々増えてくるでしょうから…。この辺は鮑の産地ですが、もうあきらめていた鮑が毎日食べられるようにな

ったと年取った患者さんから感謝されますとうれいですね。」

お生まれ育ち共金沢市。祖父の代から既に75年、3代続く歯科医院の名門である。「私は性格上何でもトコトンやる方ですから…。超多忙な理由を聞かれても、やはりこの仕事が好きだから、としか云い様がないですね。以前はいろいろ趣味に費やす時間もりましたが、今は全く…。講演に使うスライドも1回に1200枚位用意しますから、前日宅急便で送りますし、その為の資料揃えも…。とても趣味どころではありませんよ」と笑う。ロータリークラブの委員長もされているが、そうしたところから学ぶ点は「歯科医は孤立した職業で、若い内から先生と呼ばれてしましますから、帝王学とも呼ぶべき指導者としての勉強の機会がありません。ですからともすれば独善的で、人間として大切な広い視野や考え方を学ぶことが少ないのです。私は友人から“医者や歯医者や酒を飲むのは嫌いだ。痛いから仕方なしに頭を下げるが、外でつきあ



うのは真っ平」と云われた時はショックでしたね(笑)。こうしたことが私をして、歯科以外の方々につき合う大切さを知りました。」

又こうも云われる「どんな商売も競争で使用者、即ち相手本位を一生懸命考え、実行されているわけでしょう。相手が何を欲し、何を求めているか、終始それを頭に置き努力しているのです。相手本位一患者の心、気持を大切にすることが最終的には自分のためになりますし、今後の医療は益々そうした方面に向かっていくのではないのでしょうか。」

今後の歯科医療の行方については「残念ながら現在もインプラントの世界は少し誤解されているし、正確に理解されておられません

が、近い将来、歯科医療の在り方そのものが全面的に改革される程大きな可能性を持つ分野です。最近得た情報によれば、バイオテクノロジーの発達により、現在の、異物を生体に入れる方法から、天然骨、天然歯、天然の歯根膜を移植再生する方法が既に実行段階に入っているとのこと。そうした意味では、現在の方法はもう時代遅れかも知れませんし、可能となれば、歯内療法・歯周病の分野を席捲していってしまうのではないのでしょうか。歯科機械においてはタービン等もレーザーによる方法に変わっていくでしょうし、歯科医療というものが、そうなれば現在とは全く違った医療分野となっていくでしょうね。」



18年前、この道の大家である山根稔夫先生から教えを受け、以来、先述のように探求心と勉強好きな性格からインプラントへと、のめり込んでいかれたようだ。人はあるキッカケから、他頭脳が触発され、次のステップへと大きく伸展していく場合が多い。飯野先生の場合も良き師、良き友に恵まれ、人間的にも大きく伸びて行かれたケースであろう。「何か新しいことを実行しようとするれば、必ずその反対者も出て来ますし、異なった意見も出てきます。しかしそれで諦めてしまえば進歩はありません。歯科医療界も今大きな転換期を迎えておりますが、私自身も自分の信ずる道を地道に歩んで行きたいと思っておりますから、どうか若い先生方も共に頑張って行って欲しいと願っております」と結んだ。

# 臨床 歯学研修会

事務局／仙台市青葉区花京院2丁目2-72  
すがの歯科医院内

- 会員／菅野 博康(会長)  
 佐藤 幸一  
 田母神完雄  
 川村 真  
 山田 哲郎  
 斎藤 義広  
 菊地 宏光  
 吉田 和男  
 高橋 文一  
 岩淵 淳二

高度なテクニックの最先端を学ぶ、という目的ではなく、日々の臨床の中で自身の見つけた、より容易で効率的な治療方法や技術、また新材料の良否、情報などを発表するという主旨で設立された「臨床歯学研修会」。

とは云うものの、会員10名の方々はいずれも40才から50才前半の、臨床も研究もベテランの域に達する働き盛り。従って研修内容もそれ相応に高度であることは確かだ。

今回の会場は、仙台駅から車で4～5分の第一ショウケイビル3階にある会議室。月1回第2木曜日を研修日と決めて早や9年。郡部からの出席者4人も定時に到着。スライドを中心に熱心に勉強されていた。

なお、ご出席者全員にお話しをお聞きしたかったが、誌面の都合上5人の先生方に絞ら

せて頂きました。まずは会長さんから…。



Q：どのような動機で、どのような運営を。

菅野：この会が発足したのは昭和56年1月からですが、それ以前、1年の予定で私の診療室で毎月4～5名が集り勉強会をやっていました。予定の1年が過ぎた時、このまゝ解散では、という話しが皆さんから出て…。それでは正式に名前をつけ毎月1回決った研修会を持つと発足したのがこの会です。会員を一応10名としているのは、この位の人数でないとお互いの気心を知り、自由に発表、意見の交換が出来ないと思っているからです。会員がそれぞれ得意な分野を持っておりまして、その中から、日々臨床上、これはと思ったケースをスライドに撮り、毎月発表しております。目的は、GPとして総てに合格点をとれること、としておりますので、この研修会で自分の知識に何かをプラスし、明日の治療にすぐ役立てられれば、と考えております。

Q：問題点は？

菅野：別に大きな問題点はありませんが、強いて言えば、皆さんジェントルマンで、烈しい議論のやりとりが少ないことですね(笑)。いま1歩ふみこんだ意見や討論

があっても良いと思っているんですか(笑)。

Q：将来は？

菅野：特別にこうして行こう、と云うことではなく、日々進歩していく歯科医療の中で得た知識技術をこの会で発表し、これを各自が吸収しつつ、明日の患者さんに採り入れて行くことが大切だと思っています。また、それを各会員が核となって仲間に教え、全体が向上して行ってくれば、と願っております。



Q：田母神先生。先生がこの会に入られた動機とずっと継続されて来られた理由は？

田母神：私がこの会に入りましたのは、開業4年目でした。正直なところ当時は自分の治療が、果たして患者さんを本当に満足させているのかと、仕事をしつつも、疑問や時には怖い、と感ずる日々でした。この会に入ることにより、経験のある方の話しや症例を聞くことで納得したり、また不得手だった部分を学んだりして、一步一步経験を積み上げて来ました。ケース・プレゼンテーションは、時には大変、と感じますが、その努力をしないと進歩がない、と自分に云い聞かせております。皆さんもそうでしょうか、これ、特別だ、という症例ケースはあまりありませんから、肩ひじを張らずに、常々や



っていることを、少し方法をかえ発表するようにしております。



Q：吉田先生はいかがですか？

吉田：今まで十数年の間に、色々な本や講演、また治療法を見聞きして来ましたが、近頃は、本に書いてあることも鵜呑みにしないで“本当かな”と考えるようになりました。なぜなら、その内容とまるで反対なことが起こりますし…。医療には絶対ということはないという、私なりの結論がわかって来たからだと思います。この会においても皆さんの発表を聞き、それを頭の中に入れつつ、自分なりに工夫し、毎日の臨床に応用する、という考え方が大切だと思っています。仕事柄どうしても診療室の中だけでは日々の臨床に

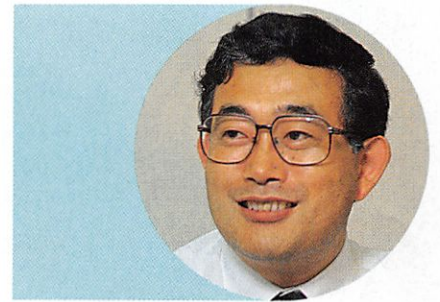
流されてしまいますから、こうした会に出て、ヒントを掴むと同時に各分野の基礎を知り、その基礎から徐々に高いレベルの勉強へと移行して行かればと思っております。今の気持は、歯科医師としてもう一度原点に戻り、現状の中で、自分は何が出来るのかを見つめなおして行きたい、そう思っております。



Q：では会員の中で一番若い岩淵先生に、世代のギャップ感(笑)と現状での心構えを。

岩淵：いやー、先輩の方々は、私よりもフアイトもありますし、フレキシビリティもありますから、ギャップ感は全く感じませんね。でも、若いということは、何を聞いても恥ずかしくない、と安心して

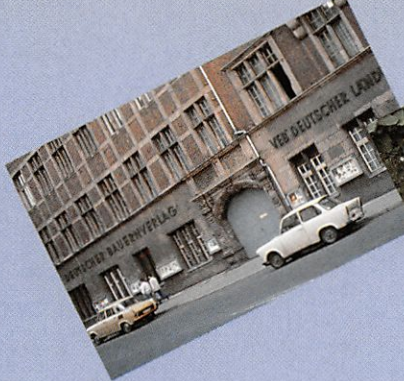
いられる得はありますね(笑)。ケース・プレゼンテーションは、正直云いますと少し苦痛です。何故なら、日々の診療の中で、これは、と術前には思うのですが、ファイナルがないんです。先輩はレントゲンフィルム1枚でも良い、と云って下さるんですが、やはり理想のファイナルを見つけたいと願うんですよ(笑)。この会と毎日の診療を通して近頃思うことは、医療の本質は、やはり患者と医師の1対1、この人間関係が基本だな、とつくづく思えてきました。この会で勉強したことを基礎に、将来は“これはあいつに聞けば大丈夫”といわれるようになりたいな、と思っているんですが。



Q：では最後の〆を、高橋先生に。

高橋：この会が継続してこられたのも、材料店さんやメーカーの方々が色々な形で助力、支援して下さいているからと感謝しております。そうしたことを私達は、歯科医療界全体の向上と発展という形で還元すると共に、日々私達の手を通して実践活用し、国民の期待に応える努力をしなければならぬと思っております。これを機会に更に勉強に励んで参りたいと思いますので、変ぬご支援とご助力をお願い致します。





海外だより

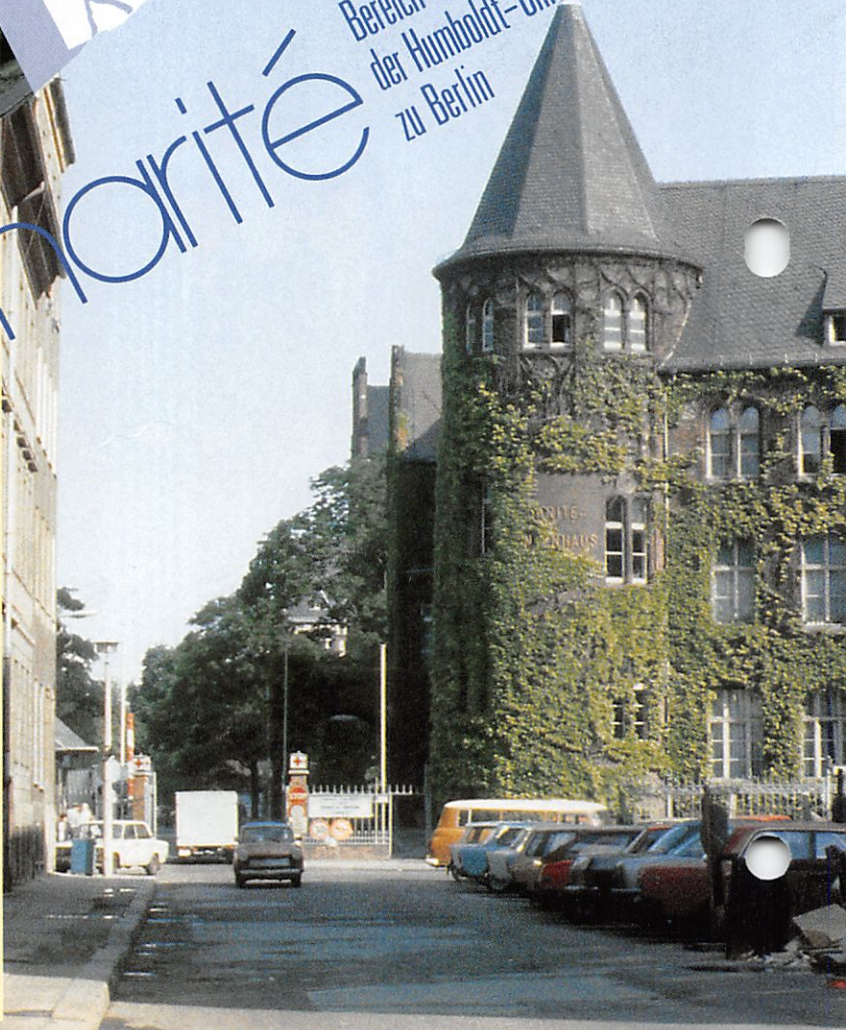
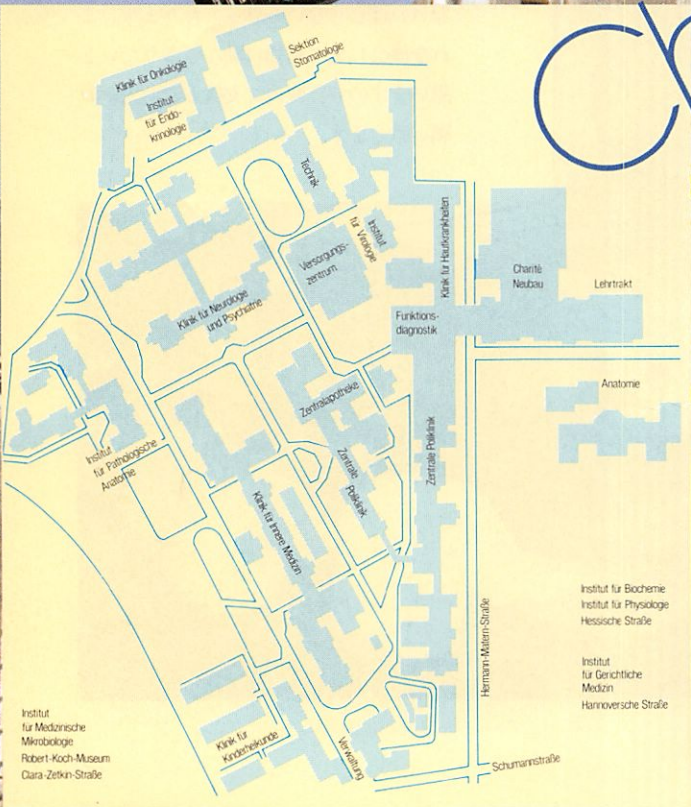
# 東ドイツの 歯科医療事情(その2)

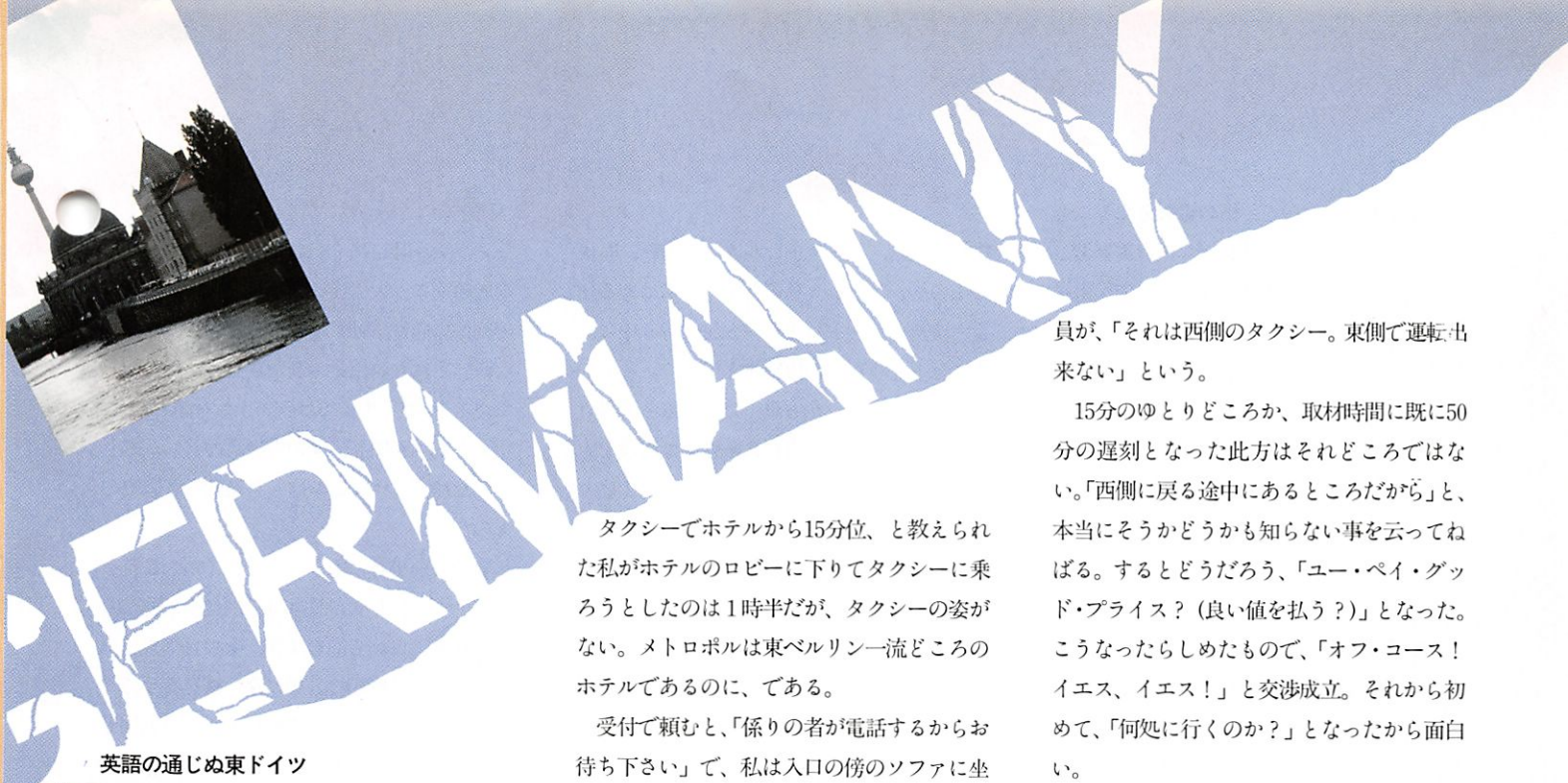
# EAST



Bereich Medizin  
der Humboldt-Universität  
zu Berlin

# Charité





### 英語の通じぬ東ドイツ

「案ずるより生むが易し」の諺通り、西ベルリンのティゲル空港からタクシーを拾い、東ベルリンの入口「チェックポイント・チャーリー」も無事通過して、メトロポル・ホテルに到着したのは5月17日木曜の正午であった。

フンボルト大学医学部「シャリテ」の口腔医長クリスティアン・ティアフェルダー(Christian Thierfelder)博士から、NY出発前にこの日の「1時から4時の間に会える」とのFAXがとどいていたので、すぐ電話を入れ「2時に伺いたい」と申し出たが、この辺から西側と東側の相違を如実に感じ始めた。

病院側のあとからあとからと電話に出る人が、みな早口のドイツ語で英語を解さない。此方は話しを簡潔にする為に、博士の名と「ジャパニーズ・ジャーナリスト(日本の記者の取材)」と「イングリッシュ!(英語の出来る人を!)」を繰り返すばかりである。5人目位で流暢な英語が受話器から伝わってきた時の此方の心境は、まさに地獄で仏である。歯科部の教授であったので、博士への伝言を依頼し、私は彼にも別個に取材を申し込んだが、「スケジュールがいっぱい」でとても無理と断られた。



チェックポイント・チャーリー

タクシーでホテルから15分位、と教えられた私がホテルのロビーに下りてタクシーに乗ろうとしたのは1時半だが、タクシーの姿がない。メトロポルは東ベルリン一流どころのホテルであるのに、である。

受付で頼むと、「係りの者が電話するからお待ち下さい」で、私は入口の傍のソファに坐り、目の前で係りの人がタクシー会社にダイヤルするのを眺めるハメとなった。というのは、彼が1回ダイヤルを回すのにかかる時間が12秒位、通話中のダイヤル・トーンを聞いて受話器を戻すのに3秒位——で、彼は1分にこの仕草を3~4回繰り返し、5分経っても、15分経っても、30分経っても、延々とそれを繰り返していたからである。

最初の10分位は、—これではNYから電話連絡出来なかったのは当たり前だった—と変な納得をして眺めていた私だったが、20分になると血圧が上り出し、30分になると矢も楯もたまらなくなってしまった。

ロボットのようにあきもせず、同じ動作をあと数時間も続けそうな係りの人を尻目に、私は入口の前に立って到着客のタクシーを掴まえることとした。案の定数分で客を乗せたタクシーが着いたので、客が下りるのを傍で待ちかまえていたら、係りの人がとんできて「ナイン!(ノウ!)」と云う。「ナイン(駄目)」位はこの私にも分るが、知らんふりして乗ろうとしたら、片言英語の出来る別の係り

員が、「それは西側のタクシー。東側で運転出来ない」という。

15分のゆとりどころか、取材時間に既に50分の遅刻となった此方はそれどころではない。「西側に戻る途中にあるところだから」と、本当にそうかどうか知らない事を云ってねばる。するとどうだろう、「ユー・ペイ・グッド・プライス?(良い値を払う?)」となった。こうなったらしめたもので、「オフ・コース! イエス、イエス!」と交渉成立。それから初めて、「何処に行くのか?」となったから面白い。

ホテルの前の通りを1分も走ったらウンタ・デン・リンデン街で、そこを3分もはしったらいかめしく聳え建つフンボルト大学となった。こんなに近いなら歩けば良かったと後悔しながら校内に入ると、横の事務所で門衛らしき人が新聞を読んでいる。ホッとしてティアフェルダー博士(以下T博士)からのFAXを見せて、「彼に会いたい」と云ったら、その人はビックリして立ち上がり、「ナイン!」そして後はまた、早口のドイツ語である。彼の身振り手振りで、やっと、同じフンボルト大学でも医学部は別のところにあると判明。此方も身振り足ぶりで、「歩いて行けるところか?」と聞くのだが、相手は「ナイン!」というばかり。

絶望で気が遠くなりかけたが、彼にT博士を呼び出して貰う事を思いつき、電話のところに引っぱって行って、こうしてやっとこさでT博士ご本人と初めて話すことが出来た。

結果的には「今日はもうあまり時間が無いから明日いらっしやい、ゆっくりお会いしたいから」となった。



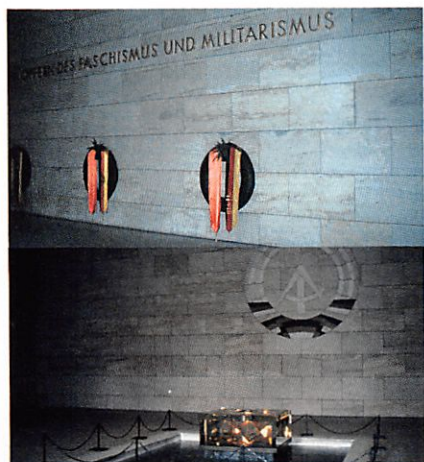
フンボルト大学



予定が変わったので、街の撮影をすることとし、ウンタ・デン・リンデン街を歩き出したら雨となった。雨宿りを兼ねて、何か由緒ありげな建物をのぞいてみることにした。入口の前に、紅顔の兵士が2人、直立不動の姿勢で立っており、傍の壁に上役らしい将校がもたれている。「此方は何ですか?」と将校に尋ねても、戻ってくるのはドイツ語ばかり。中に入ったら500畳程の大広間で、中央に炎のシンボルが見えるので、「無名兵士の墓」と了解した。

雨が止まないで今度は美術館に入って見る。何の美術館か知らないが、見ている内に分るだろうと、探検家の様な心境で見回した。ただっ広い1階に見えるのは、近代彫刻と絵画の群れ。決して楽しい作品ではなく、じっと見つめていると、人の呻きや叫び声が聞こえてくる様だ。

2階はガラリと雰囲気が変わり、小部屋風に展示がまとめられている。ペトローベン手



無名兵士の墓



ドイツ民族博物館

書きの楽譜、カール・マルクスの書籍、歴代の王のヘルメット、私の背丈の2倍はある魚雷、ナチのオートバイ——と見て行く中に、ここはドイツ民族の博物館と気付く。

2階でおしまいかと思ったら、取って付けた様な小さな3階が目に入ったので階段を上ってみたら、中央にポツンと置かれた山盛りにも色々積まれた古めかしい手押車が視界にとび込んできた。積み切れず、大小のバケツが手押車に結びつけられており、昔の、あの火で熱くして使った鉄のアイロンも見える。私の脇には、心身共によれよれとなった避難民の姿が浮かび、私の肌は地の果て「なら山」の寒風を意識した。

手押車の後方の展示は壁一杯に伸ばされた写真のパネルで、実物大の骨と皮に瘦せかけた人達が段々になったベッドに横たわって此方を見ている。このパネルの前に置かれているのは、この人達が使った3段式木製ベッドと身の回りの物のロッカーで、両方とも実物である。別のパネルは、ナチの将校がこの人達の2人をなぶり殺しにしているシーン。別のは、ガスで毒殺された人達の髪の毛の山、靴の山、そしてメガネの山——。

つまり、ひっそりとした10畳ふた間程の3階は、アウシュヴィッツの展示であった。

人間の残虐性、犠牲者の断末魔の苦しみと骨髄に徹するその恨み、自国の歴史の流れの中で誇りとすることも恥とすることも合わせて展示するその理性——といったものに複雑なショックを受けた私は、もう雨が気にならず、首から下げたカメラが小雨で濡れるのもかまわず歩き回った。



アウシュヴィッツの展示

そういう時に出くわしたせいか、Altes 美術館の前に、大広場に向かって聳え立つ2つの銅像に痛く感動した。馬にまたがった男と女が、それぞれ槍をふりかざし、猛獣と闘っているもので、男の方はライオンを組み伏せ、止めを刺す瞬間で、女の方は馬の首にかぶりついた雌ライオンとおぼしき猛獣と苦戦中のものだ。

自分の前半身に抱きついたライオンに首をかぶりつかれた女の馬は、尻尾を空に逆立て、耳を伏せ、口から泡をふき、その目は飛び出さんばかりの形相だ。鼻に深い皺を寄せて馬の首にかぶりついている雌ライオンの形相も凄ければ、それを刺そうと狙う女の形相も物凄い。

馬の腹下で仰向けになって、男に止めを刺される直前のライオンは、牙をむきだし、たてがみを逆立て、爪をむきだした手と足の掌を一杯にひらき、必死の形相である。勝ち戦と知ってか、此方の馬は興奮の絶頂にあって耳を伏せていない。格闘中に裂きはげたのか、男の後ろ姿は一条まとわぬ丸裸で、もり上がる筋肉が見事にも美しい。

後で知ったことだが、フンボルト大学付近だけでも11も美術館があるそう。そのうち美術館巡りを目的として、再度ベルリンを訪れたいと思っている。



Altes美術館前の銅像

# ERLANN



## フンボルト大学医学部・付属病院「シャリテ」

1829年にフンボルト大学の付属病院となった「シャリテ」だが、設立時から数えるところの10月で創立280年を迎える。

私はドイツの国民性に、組織的、能率的、勤勉、緻密といった特徴を感じる者だが、T博士との取材でもその念を強くした。

シャリテの歯学部はヨーロッパ最古で、1884年に創立されている、というのが大体普通だが、T博士は1884年の「10月24日に」と、驚く程緻密である。だが歯科学が個別のプロフェッションとして認められたのは、プロシア王国に於いて、それは1826年の「9月30日」であった、となる。

1940年の11月10日生まれのT博士は、中肉中背の壮年で、見るからに精力旺盛な人だ。お会した瞬間に、この人とのコミュニケーションは楽だと感じたが、全くその通りだった。彼は気さくで、至れり尽くせりで、挨拶が済むや、上手に煎れたコーヒーを品の良いカップとソーサーできちんと出して下さった。

余談になるが、昔留学生として渡米した私が、初めてレストランで食事をした時、1センチもの厚さがあるかと思われるコーヒー・カップでコーヒーが出て、うんざりしたのを昨日のことに覚えている。アメリカ人にグルメ指向が出始める10年も前の事で、当時は能率一番の時代だった。薄いカップは欠け

易いということで、学生の客が多い食堂やレストランの食器は、ぶつけた位ではビクともしない程頑丈な出来だった。入れ物のお陰もあって、この時の第一印象、「アメリカのコーヒーはまずい」が私の先入観となってしまっている。

コーヒーを前に、次にT博士が聞いたことは、私がタバコを吸うか、という事だった。取材中の私は、相手か吸えば吸うし、吸わなければ吸わない、というやり方だが、質問されたので「イエス」と答えると、博士は戸棚から灰皿のみならずアメリカ製のタバコまで取り出し、「どうぞ」と私の前に置かれる始末である。

こういう動作から伝わってくるのは、その人の接待の心掛けて、行き届いた接待の背後には必ず思いやりがあり、思いやる心があればコミュニケーションははかどる、という事である。

私がアメリカ出発前に、東ドイツ歯科事情に関する情報入手を手を焼いた話をし、ベルリン滞在中に出来れば東ドイツ歯科協会を訪問したいと云ったら、博士は笑って、東ドイツ歯科協会はまだ存在しないから、連絡出来なかったのは当然、という。今では地域ごとの歯科協会制度となっているようだ。

シャリテの口腔科教育のカリキュラムは5

年制で、その最大目的は、公共衛生に携わる口腔医師の養成である。最初の2年は臨床前の講義(Pre-Clinical)で、あとの3年が臨床(Clinical)となる。

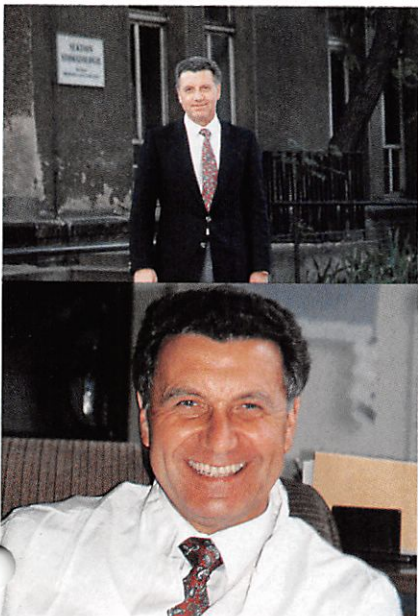
最初の臨床前講義は、生化学、生理学、解剖が中心で、3年になると臨床で病理学、微生物学、手術、抜歯の講義となる。4年と5年になると、手術、歯列矯正、充填の臨床講義となる。

この5年の課程を終了すると試験があり、それをパスして初めて資格を持つ口腔医(歯科医)としての最低資格を認められる事となる。課程終了後、2ヶ月位の期間に10程の試験が実施され、加えて論文も提出となるから、学生は勿論のこと、教授側も大忙しとなる。

成績の良い学生は、次の段階の資格獲得の為に学位論文を準備することを許可され、それにかかる。これは3年で書き上げ、4年目に試験、そして試験にパスすると「ドクター(Dr. Med.)」の肩書を使用出来ることとなる。この試験は、1回目に落第しても、もう一度受ける事が出来るが、二回とも落第すると生涯「アシスタント」として働くハメとなる。つまり、何時も資格保有者と共に働かねばならぬという事である。大学で教えるにはこのドクターの資格が必要で、現在東ドイツでこのドクターの資格を持つ口腔医は6%ということだ。

一方、5年課程終了試験にパスした学生は、次の4年課程のポストグラジュエートコースで特別分野の専攻となる。T博士に依ると、5年課程卒業生の74%が一般歯科(ジェネラル・ストマトロジー 総合口腔科)、20%が小児科、4%が歯列矯正科、2%が歯科手術部門を専攻するようだ。

この専攻課程は1978年に設立されたもので、1988年度時点で、解剖学、生化学、生理



Christian Thierfelder 博士





# EAST G

学、病理学、微生物学、薬物学分野の専門医が50人程存在するとの事だ。

シャリテの口腔科は、修復、補綴、手術、歯列矯正の外来患者用クリニックと病院、そして別個の歯科機械技術、口腔放射線、患者登録と書類文献施設より成っている。

シャリテは現在来る21世紀に備えて、その口腔科教育システムの再構成と取組んでおり、今年よりその新システムが実施となる予定である。再構成で変更となったポイントをハイライトすると次の様になる。

- 治療よりも予防強調方針の強化
- 大学教育に於けるプロフェッショナル倫理学の強化
- テクノロジーと科学の進歩に貢献する為、大学生の活発な科学活動を奨励・増加
- 疫病が流行した際に備え、特に危険性の高い患者と社会の特定グループを考慮し、より効果的臨床トレーニング指導の実施。

教育方針は、大学及び大学院を通し、一貫して知識、技術、動機づけの強調、そして新思考と新方式をより容易にまた早く修得し採用する指導の考案である。

東ドイツ歯科分野の動向としては、飲み水のフロリデーションや他の虫歯予防対策実施にもかかわらず、人口の虫歯減少は見られない。個人レベルでの口腔衛生指導をもっと強化しなければ、プラークが原因の虫歯発生の減少は望めない模様だ。

一方、苦痛がともなう機能障害・悪化の症候群の様な、プラークとは無関係な病弊のケースは増加する見通しとなっている。それに備えて早期診断に依る初期発見と治療上の病理学的選択の研究努力がなされている。

歯列矯正処置は、青少年のみならず成人者層でも明らかに増加の傾向を示している。補綴治療では、フィックスド・デンチャーとインプラントの増加が見込まれている。

1970年度の東ドイツの歯科医数は、7,349人で人口2,321人につき歯科医が1人だった。歯科医数を徐々に増やす為、シャリテ口腔科は学生数をまず2倍に、後に4倍に増加させている。その結果、現在歯科医数はほぼ13,000人で、人口1,328人につき1人となっている。

目標は、近年中に国連世界保健機構(WHO)が推薦する人口1,200人につき歯科医1人のレベルにもっていくこととなっている。

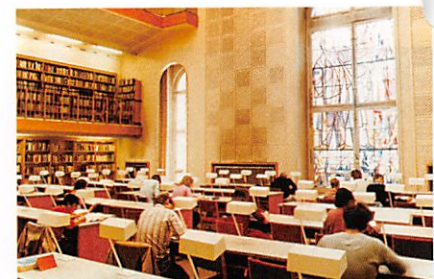
シャリテ口腔科は、これまで年に100人の

学生をとっており、その中70人から80人の学生が課程を終了すると聞く。しかし今年から、毎年とる学生数を100人から60人に減らすとのことで、それは既にこの人口対歯科医数の目標を達成するメドがたった事を意味しよう。

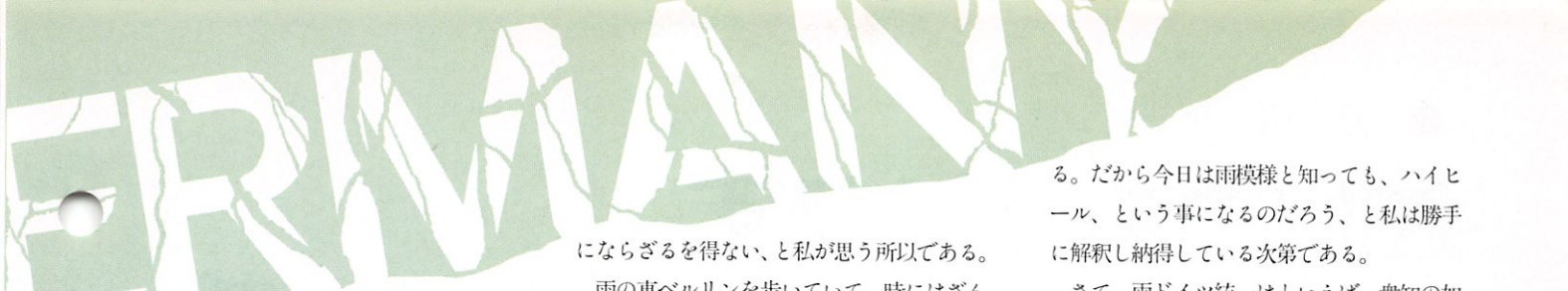
一方、歯科医療を補助するドクター以外のスタッフは、度重なる努力にもかかわらず、まだ欠乏状態が続いており、比例は歯科医1人対テクニシャン0.6人、ナース0.9人となっている。

この2分野のパラメディカル・プロフェッションは3年制のテクニカル・スクール課程に基づいており、学校側はトレーニング向け応募者募集に最大の努力を払っている。応募者の動機づけのひとつとして、大学院教育も通常受けられる仕組となっている模様だ。デンタル・テクニシャンのほぼ50%は、セラミック、補綴モデル鋳造、歯列矯正、補綴の特定分野の専攻に進むそうだ。看護婦は、デンタル及びオラル・ハイジーンの専攻課程をとる事が出来る。

こういう組織的、能率的企画と努力にもかかわらず、東ドイツの口腔問題(主として虫歯)の好転は期待されていない。先に述べた如く、虫歯減少は予防、つまり口腔衛生



フンボルト大学付属病院「シャリテ」



が最も効果的なのだが、効果的口腔衛生は個人レベルの努力と協力が無ければあり得ない。これが、つまり大衆の口腔衛生意識の向上をはかる事が、これからの東ドイツ歯科医療の最も基本的な課題であると思われる。

私個人の意見では、両ドイツ統一後、東側の大衆の衛生意識は向上せざるを得なくなると思う。そう思うきっかけは、シャリテの学費も無料ならば、診療・治療代も無料、と聞いた時だった。洋の東西を問わず、人間の心理は同じと信じるが、一般的に人はみな「ただ」で物を欲しがるくせに、「ただ」で貰った物には貴重感が無く大事にしない。

「ただ程高いものはない」と昔の人が言い残しているが、全くその通りと思う。治療代がただの東ドイツの人達は、未然に防げる虫歯、そして結果的にもっと複雑な口腔諸問題を真剣にとらえず、結局は自分の健康で「ただ」の診療・治療代を支払ってきていたわけだ。統一後のドイツでは、「西へならえ」となるから、無料治療といったシステムが姿を消すのは時間の問題と思われる。治療代を自分で支払う事となれば、自分の衛生管理にも真剣



にならざるを得ない、と私が思う所以である。

雨の東ベルリンを歩いていて、時にはざんざん降りというのに、ハイヒール姿の女性が多いので不思議に思ったが、このパズルも私の頭の中では解けた気がする。

統一話が持ち上がる前の東ドイツでは、失業率ゼロ、競争の必要性ゼロ、診療・治療代ゼロだった。競争の必要もなければ、クビになる心配もせずに済むとなると、多くの人間はだらける。だから「今日は病気」と、仮病を使って休む人、必要もないのに毎週「歯医者(または医者)に行く」と、午後の勤務時間に3時間位、それを口実にさぼる人が多かったと聞く。

「壁」が崩れて統一話が持ち上がってから、東ドイツの人達の勤務態度が、大げさに云うと、一変した。仮病休みがぐんと低下し、「歯医者(または医者)に行く」のもその回数が減り、行く時も勤務時間中でなく、オフィスが終えてから、となったそうである。また、統一後、予期される企業の破産と高い失業率の不安から、「生き残ろう(クビにならぬ様)」の努力の姿勢が誕生した。

この努力の姿勢は、真面目な勤務態度の他に、上役に自分の価値を意識して貰う為の色々な行動となる。それは人より早くタイプをうつ事も知れないし、人一倍早く上役のニーズに機敏に應える事でもあろうし、一番手近なところでは、身なりをととのえ——つまり、イメージ作り、そしてその向上であ



る。だから今日は雨模様と知っても、ハイヒール、という事になるのだらう、と私は勝手に解釈し納得している次第である。

さて、両ドイツ統一とはいえば、衆知の如く着々と、驚くべきスピードで進んでいる。予定通りこの7月1日に両ドイツは合併し、2日から西のマルクが正式通貨となった。新ドイツの首都はボンからベルリンに変更となり、57年ぶりの初ドイツ総選挙は、予定の12月2日から10月14日に繰上げという電光石火の早業だ。

総選挙繰上げの理由は、早く合併する事のみが、東ドイツを破産から救う唯一の道だからとされている。実際のところ、東側の経済危機は西側のエコノミスト達の子想以上の悪さで、経済統一後の2週間で、東側の850万人の労働人口の22万3,000人が失業。以後週に30,000人から40,000人のペースで失業者が増えており、現時点の失業者数は35万人といわれ、国営大手8,000企業の30%は既に破産したと伝えられる。エキスパートは、人口1,660万人中、その40万人が失業となる可能性があると言う。

総選挙繰上げの本当の理由は、東側の破産を防ぐ為、西側が途方もない経済負担をする事になるが、具体的にそのスケールを西ドイツ大衆が知って騒ぎ出す前にやっしまえ、ということらしい。ボン政府は東側の為に、今年だけでも200億ドルの援助予算を組んでいるが、専門家達の話の聞いていると、東側は西側の為に向う3年位毎年625億ドルは必要で、向う5年間に多分2,390億ドル必要とするだろうということだ。

選挙日が早ければ早いほど、H.コール首相のキリスト教民主同盟の勝ち戦となる。大混乱の中で、反対党は考える暇も組織化した活動もままならぬ現状だからだ。反対党は声を大にして統一の西ドイツ側の経済負担額の物凄さを大衆に伝える努力をしているが、この混乱中の大衆の耳に、そのメッセージが実感として伝わり出すのは11月中旬頃だろう、と専門家はみている。(以下次号)



筆者紹介  
岩本蘭子

ボストン大学大学院ジャーナリズム科卒  
ランコインターナショナル社長  
ニューヨーク在住



室内に緑を多く入れ、  
威圧感を与えない印象を心掛けました。

## イノ デンタルクリニック

埼玉県北本市大字下石戸上字南1599-3  
院長 猪野千恵子 (旧姓・高野)

診療時間：9:30～12:30、2:30～7:00

(休日) 日曜、祝日

スタッフ構成：歯科医師1名、衛生士1名、

助手1名、パート1名

患者数：1日約20名

勤園に組み込まれた開発が進んでいるが、この辺りまで来ると、まだまだ木々も多く吹風も爽やかで心地良い。

イノデンタルクリニックは、この郊外の県道沿いに、周辺の風景と合わせるように、グリーンを建物全体のイメージカラーとして建てられている。L型に取った駐車場は、開業直後ということでもまだ工事中であったが、車は楽に10台以上停められるスペースを確保。郊

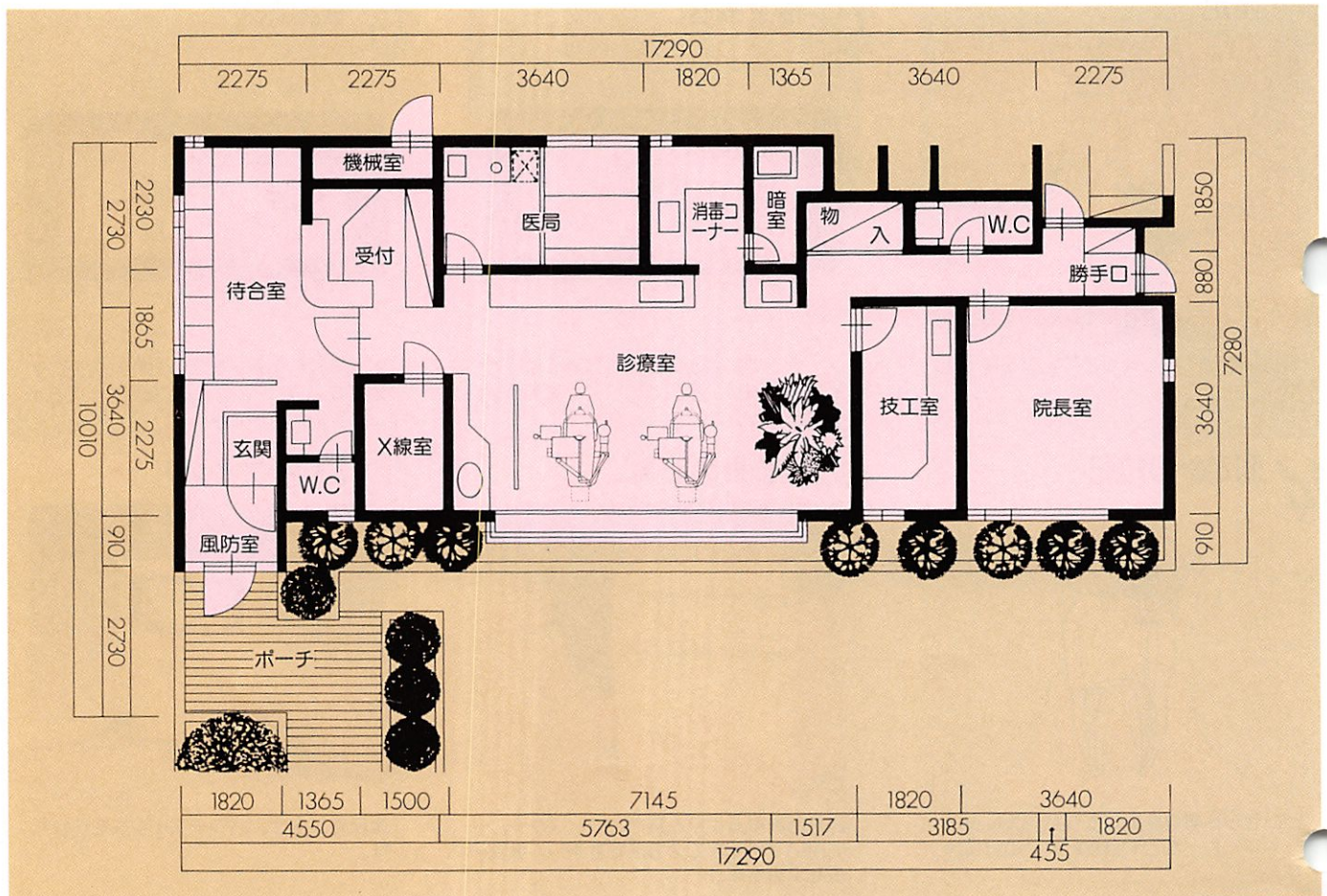
設計・施工：吉田建設株式会社

開業：平成2年7月

スペース：126㎡ (約38坪)

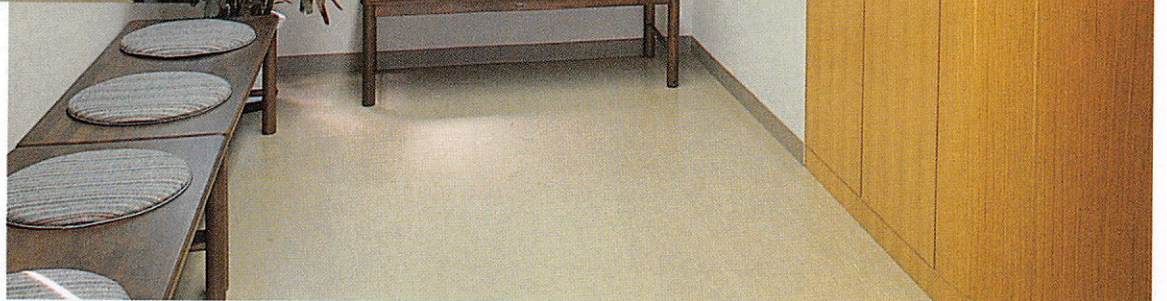
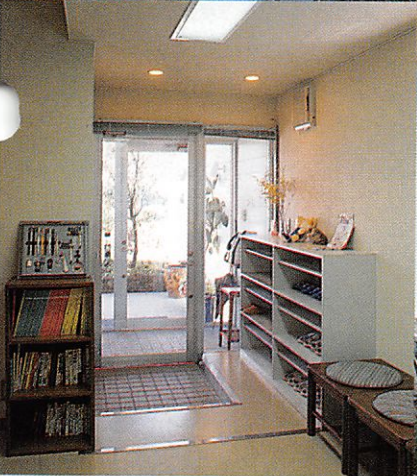
ユニット：スマイリーN 2台

大宮から車でおよそ40分。高崎線に沿った上尾、楠川、そしてご紹介のイノデンタルクリニックのある北本市も、今や完全に東京通



外医院らしく遠方からの来院者に備えてある。

玄関アプローチは、L型につくられ、両サイドにはたくさんの植込みが…。入口も北国には直接寒気が院内に入らないよう風防室を設けてある医院も多いが、当院にも設置され、外気を遮断している。又、この風防室には公衆電話が置かれているが、こうしておけば待合室と違って、話しの内容も他人に聞かれることなく、しかも密閉されているから静かで話しやすい。風防室を設けてある医院、又これから作られる医院にはぜひおすすめしたいちょっとしたアイデアだ。



待合室は薄茶の床に天井、壁は白。窓にはグリーンの細型ブラインド。椅子は細長の木目の机型にクッションを乗せただけのもの。モダンで若々しいイメージを与えている。

受付も曲線で木目の暖かさを活かしたオープンスタイル。

診療室も待合室と同色同材を使用。並列にならんだベージュとグリーンのとートンカラーのスマイリーNユニット前面部の出窓や、将来のユニット増設に備えた空間には各種の観葉植物や季節の花が置かれ、無味乾燥になりがちな室内を豊富な緑で柔らかに演出している。

院内全体に若々しさと女性らしい心くばりが随所に感じられ、明るくゆったり、使いやすそうな診療室である。

院長は城西歯科大学(現明海大学歯学部)を卒業後、北里大学薬学部生薬学教室で修士2年、更にドクターコースで3年研究生活を。学位修得後勤務医を2年、その後開業をひかえ歯科医師としての最終勉強を大宮市にある

阪初彦先生のもとで修業。充分な実力を蓄え、今年7月開業に踏み切られた。写真でもおわかりのように、やさしくおっとりとした印象であるが、向上心や意志はかなり強そうだ。

なお、ご主人は、同大卒業後、そのまゝ、大学に残り、現在補綴学教室の助教授としてご活躍中である。

Q: 勉強も充分された後のご開業。全く不安はありませんね。

院長: いいえ、不安ばかりです(笑)。勉強期間は長かったのですが、歯科医としての臨床の勉強は余り多くはありませんので、これから毎日毎日が勉強です。

Q: 歯科医師を志された動機は?

院長: 実は高卒後成蹊大学の文学部に入りましたが、女性で4年制大学、それも文科系の就職は難しいと云われましたので、将来自立する為には、と考え直し、同大に通いながら、歯科大入学の勉強をしました。

Q: 女性の自立時代といわれておりますが、その模範のようですね(笑)。

院長：いいえ、ただ専業主婦は全く自分に向いてないと思っておりましたから(笑)。それまでは歯科医になろう、という気持は全くありませんでしたし、知識もありませんでした。むしろ研究職に憧れがあり、北里時代、生薬関係のイギリスの雑誌に論文が2～3回掲載されたり、そちらの方面の方に興味がありましたから…。

Q：そして開業へと。現在のご心境は？

院長：信念を貫くのは大変なことです(笑)。でも開業して、毎日来られる患者さんから、人間の本質のようなものを勉強させてもらっております。たゞ、まだ開業したばかりで、仕事が面白い、というところまではいっていません。患者さんの話を聞き、その後歯科医として、何が貴方にとってベストかの話しをして、お互いの信頼性を高めていく状態までもって行ければ最高だと思うのです



が、まだ先になりそうですね(笑)。

Q：ご主人の協力度は？

院長：夜は週2日手伝ってくれます。又開業に先立つ設計、施工段階では色々協力してくれました。私気がつかない、細かい医院としての雰囲気づくりには、種々アドバイスをしてくれ、ずい分助かりました。

Q：家並みの密集されていない郊外での開業。宣伝その他は？

院長：看板を立てたくらいで、宣伝らしい宣伝は全くしていません。ただし土地購入にあたり、附近の市場調査はしました。この辺り、半径1キロ以内には歯科医院は1軒もありませんでしたので、しっかりと治療さえすれば、だんだんと患



者さんは定着し、増えて行くのではないかと…。兼業農家の方が多いので、勤めから帰られた方が夕方から夜にかけて来院してくれます。でも正直まだ不安ですね(笑)。

Q：お子様は？

院長：4才で保育園に通っております。この辺は子供の環境には非常に良いので、毎日真っ黒になって遊んでおります。でもまだ小さいので、夕方4時から7時までにはパートの方に来ていただき、子供をみてもらっております。

Q：診療室を作られるにあたってご留意された点は？

院長：とにかく明るい雰囲気、患者さんに緊張感を与えないことを心がけました。室内も緑を多くとり入れ、ユニットやその他威圧感を与えそうな機器類を緑の中になるべく溶け込ませよう統一しました。

Q：オサダのユニットをご購入頂いたのは？

院長：他社メーカーに、かなり強い知り合いがおりますが、勤務医時代オサダを使った経験から、とにかく開業にあたっては、使いやすく、アフターケアのしっかりしたメーカーを選びたいと…。オサダの製品はちょっと地味ですが、機能的でトラブルが格段に少ないことが選んだ理由ですね。

Q：将来は？

院長：まだ開業したばかりですので、将来の計画までは考えられませんが、子供さんも好きですし…。子供を含めた家族ぐるみで、気楽に来れる医院にしたいな、と思っているんです。

Q：全国におられる友人、知人の方々に…。

院長：開業はちょっと遅くなりましたが、皆さんに早く追いつくよう頑張りたいと思っております。皆さんもお身体には充分気をつけて、いつまでもお元気で。



## 歯科医院の新築・改築・増築から、医院経営まで、すべてわかる。



歯科医院

定価10,300円  
(本体10,000円)

### 開業ガイド

〈主な項目〉

- 歯科医院のセクション別実例
- 歯科医院のレイアウトチェックリストと基本事項

- 歯科医院のレイアウト実例
- これから開業される先生方へ

— オサダからのアドバイス他  
(別冊付録)  
設備機械、器具、材料リスト



歯科医院

定価6,180円  
(本体6,000円)

### 経営マニュアル

〈主な項目〉

- 開業準備の留意点
- 開業準備計画書／開業収支・資金計画書

- 歯科医の節税戦略(青色申告)
- 特別経費・専従者給与・みなし法人・損益通算・特別償却
- MS法人・医療法人
- 財テク・税テク 他

※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。  
長田電機工業株/顧客センター  
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5  
☎03(492)7651(代)



オサダの商品  
〈お元気ですか〉

## 杉山歯科医院

札幌市北区新琴似7条6丁目5-21

院長 杉山忠憲  
副院長 杉山 裕



札幌駅より北西に向かって車でおよそ20分。新琴似の広い通りに面して建つ真っ白い3階建の診療所とボール式の立看板が目を引く。

院長の忠憲氏は、昭和25年東京歯科大学を卒業され、勤務医経験後独立してから早や33年という大ベテラン。現在もご息裕氏との連携診療もスムーズに、計8台のユニットをフルに使って、地域住民の歯科治療に奉仕されている。お身内には、静岡に1人、神奈川に2人、東歯大に3人、奥様側に4人、そして3人のお子様、ご息子の奥様…、聞いているこちらがわからなくなってしまう位の歯科医師一族。そのゴッドファーザー(?)的存在が当院の院長である。こうした環境下で、息子さんを含め若い方達と上手くやっていく秘訣を「やはり一番大切なことは、親が息子達と同じテンポで勉強して行くことですね。水準、もしくはそれ以上の診療をしていけば断絶はありませんよ。50才を過ぎて勉強したこともずい分ありますが、勉強は苦になりませぬね。」とアッサリしたご返事。変わって副院長の裕氏に「私は東歯大から北大歯学部へと勉強をし、6~7年前帰



って来ましたが、当初は治療には自信をもっていたにもかかわらず、イヤになりましたよ。いいえ、親父にはありません。患者さんにです。とにかく挨拶をしても返事もしない。麻酔をして『痛くなかったでしょ』と聞くと、院長ならもっと痛くない、と云うんですよ。最初の頃は、毎日頭に来ておりました(笑)」と子の深い悩みを親知らず、のご返答。

診療室は、キャビネットを中心に両窓側に2台づつのユニット。後の4台は各小部屋にわかれ、それぞれにキャビネットはむろんのこと、X線も設置されている。ドアは総て鉛を入れ、微量の放射線も完全に遮断。治療の効率性とスタッフの健康に気づかわれている。

地域歯科診療の悩みは、と院長に「都会地では総義歯を作って何百万という患者さんもあるようですが、地方ではほとんどが保険診療。都会で開業中の同級生と話をしていても、治療内容やテクニックの時は合うのですが、お金の話しになるとピントがズレてしまいます。賃貸料、人件費等、いろい

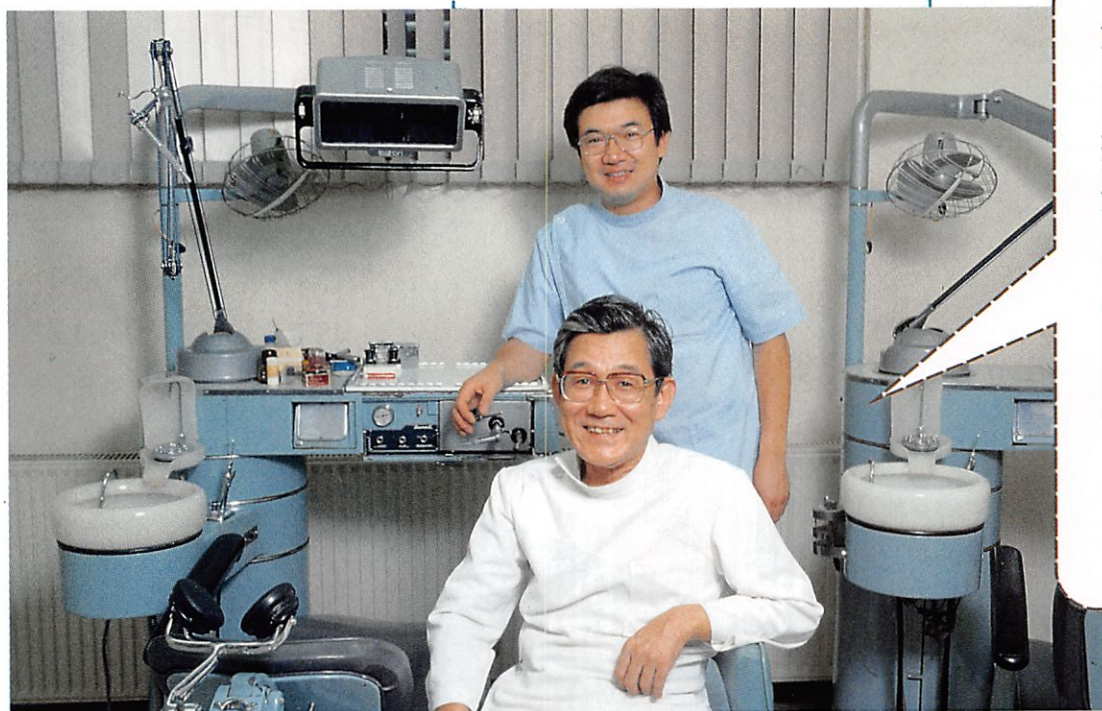
ろ周辺環境の違いはありますが、ほとんど保険内で治療をしている地方の歯科医師は、今後益々苦しくなっていくのではないのでしょうか」副院長は「歯科医師過剰問題より、より深刻なのは衛生士や技工士等のスタッフ確保の問題ですね。技工士も学校を卒業しても、より労働条件の良い職場にどんどん転職していく現状を見ますと、これでは歯科医療そのものが行きづまってしまうと思いますね。労働時間は他より長く、給料は少ないのでは当たり前です。しかし経営する側にとっては、先程の話のように、保険での治療をどんなにやっても、人数、時間共限りがありますから、それ相応のお金しか払えません。国民一般経済の伸長と医療保険の格差が大き過ぎるとつくづく思いますよ。

室内にはスマイリーN、パーソナーFXの最新ユニットと共に、23年前にご購入頂いた<マクセル>ユニットが2台。「このユニットは私がここに開業した時買ったものですが、



背の曲がったご老人などは、安頭台が現在のユニットより前面に出ますので楽なようです。今は、老人の印象採得、咬合採得やクラウンブリッジ関係にのみ使用していますが、ここまで来るとなかなか離せません。それにしてもよく長持ちしますね(笑)」。セファロ付レントゲン、昨年発売した全顎開線X線装置<パントリア5型>も、北海道納入第一号。「親父は新しもの好きなんですよ」笑っていわれた副院長。

良きものは残し、新しいものには全力で挑戦する院長の「人生哲学」を見る思いがした。



〈マクセル〉ユニットを使って23年。  
良き物は残し、新しいものには  
全力で挑戦する人生哲学。

自院で身障者専用搬送車を仕立、地域歯科診療に奉仕する。

## 東川 歯科医院

北九州市八幡西区木屋瀬5-4-1

院長 **東川和生**



筑豊電鉄・木屋瀬(こやのせ)駅前、といっても静かな住宅街の中を走る改札口もない可愛い駅であるが、そこに建つ真っ白い外壁に円筒状の階段を設置したひとときわモダンな歯科医院はいやでも(?)人目をひく。前面の広い駐車場には、ご紹介の身障者専用搬送車がデントと置かれている。写真でもおわかりのよ

に、中には車椅子ごとリフトで昇降させる設備が取り付けられている。各種公共施設や病院等で仕立てた車で患者を搬送し、歯科医院は治療にのみ協力する、という所はあるが、自費で車を仕立て治療と足の総てを面倒みる、という医院はめずらしい。



診療室内も、車椅子がそのまま出入りすることから、ユニット背面もゆったりと広いスペースを取り、明るく開放的なイメージに仕上げている。窓に沿って並列にならんだユニットの奥側コーナーには、好評のオサダの身障者専用ユニット〈ユニオートR-2〉が。

院長である東川先生にこうした設備を取り入れた動機、現状、運営方法等を語って頂く。

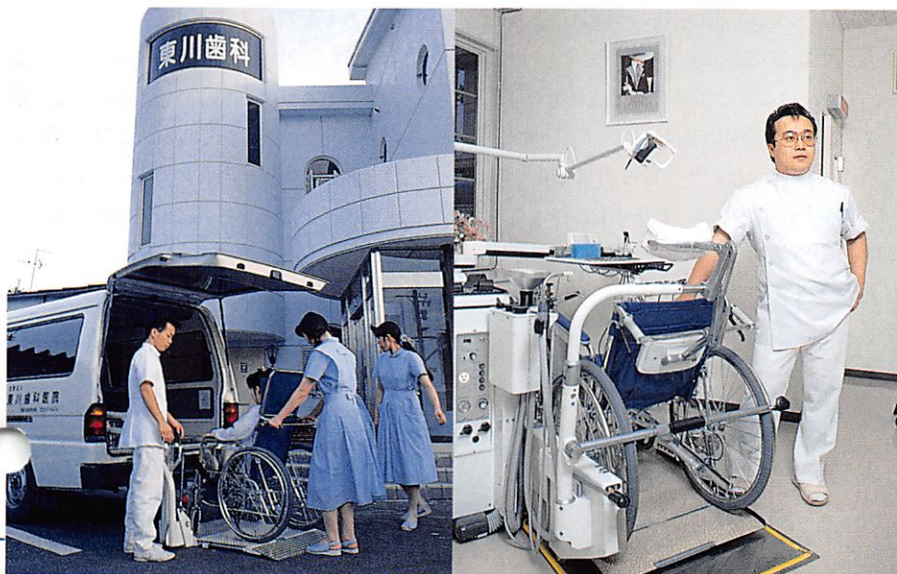
「今年7月から本格的に治療を始めたんですが、患者さんやその家族の人達には評判がよいですね。開業して2年半程になりますが、当初から身体の不自由な家族がいるが、歯が悪くて困っている、診てもらえないか、という問合せが多く、水面下にはもっと多くの困

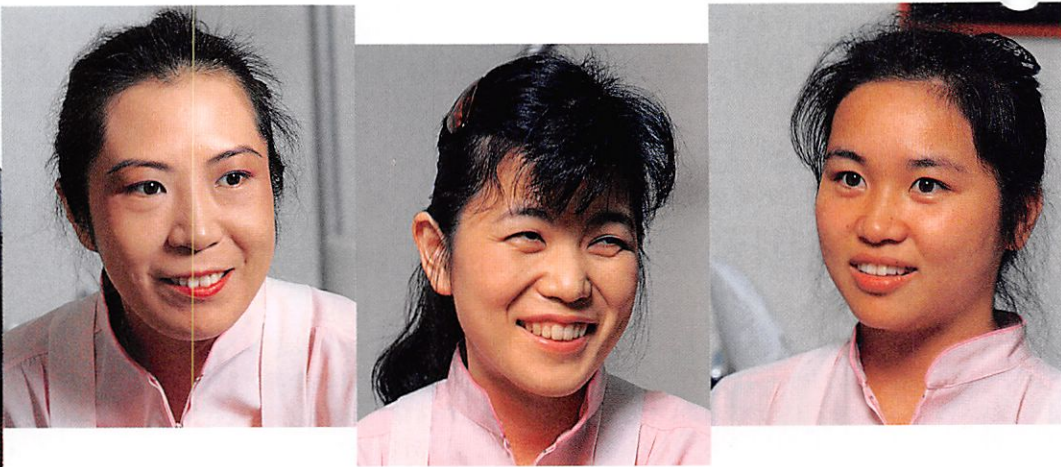
っている方がいるのではと思っていました。しかし往診は時間的にも無理がありますし、十分な治療も望めません。又来院されてもこうした専用設備がありませんと、我々も患者さんも大苦勞をするので、考えた末、総ての設備を取り入れることにしました。運営は?

「連絡がありますと時間を決めて車で迎えに行きます。到着するとアシスタントが車椅子ごとリフトで降ろし、そのまま診療室内からユニットに乗せます。ボタン一つで操作できますので、女性1人でも全く支障はありませんよ。通常、身体が悪く歩行も出来ない」と云いますとやせ細った身体で、と想像しがちですが、食べて寝て

だけ、という方も多く、中には100キロを越える方もいます、そうなりますともうスタッフ一同汗ダクで(笑)…。秘訣は?「こうした治療は、手間と時間もかかりますし、私達の疲労も倍以上ですが、他の患者さんにも理解して頂いて、来院されたら、すぐ治療をあげること。それと度々来院は出来ませんので、1回の治療に可能な限り時間をかけ回数を減らすことなどでですね。経営上は?「車の改造等でお金はかなりかかりましたが、長い目でみれば充分ペイできると思います。このユニットに車椅子ごと乗せれば、あとは全く通常の患者さんと変わりありませんが、他の患者さんもありますので、一日2~3人が限

度ですね。それから重要なことは、身障者の場合は、他に疾患をもっておられる人が多いので、緊急に際しての一般病院との提携関係は不可欠ですね。幸い、私には懇親にしている大病院が数軒ありますので、この問題はクリアできますし、それ等の病院からの身障患者の依頼もかなりあります。障害者ではありませんが、交通事故患者の歯科治療の時もギブスに車イスのまま治療できるこのユニットは便利です。」「もともと当院はお年寄りの患者さんが多いのですが、こうした治療を始めたことにより、老人会やゲートボール大会などでもよく話題になっているらしいですよ。歯科医過剰時代を迎え、又、保険医療の締めつけ等、明るい話題は少ない昨今ですが、我々も開院して、ただ来る患者さんを待っている時代はそろそろ終りつつあるのではないのでしょうか。自院の方針、周囲の環境等を考え、積極的に患者さんを発掘していく時代、そう思いますね。」「機器購入にあたって各メーカーを調べましたら、車椅子のままという条件を満たすメーカーはオサダだけでした。操作も簡単ですし、故障が少なく信頼性が高いオサダのユニットですので、患者さん、スタッフとも評判は良いですよ。昔は映画監督志望だったと云われる院長。今後も自身の創造力を駆使し、地域住民に奉仕して行くことであろう。高齢化社会を迎えて…頼もしい32才独身の中堅医師である。





## 塚本歯科医院

東京都葛飾区東立石4-50-4

院長 塚本 亨

山口 光子さん

渡辺 真弓さん

古谷ひふみさん

京成立石駅より徒歩で3〜4分。3つ先の駅は寅さんの生まれ故郷のある柴又・帝釈天。ご紹介の塚本歯科医院はバス通りに面したレンガ造りの医院らしい雰囲気を漂わしているが、一步路地に入ると狭い軒を連ねた昔ながらのなつかしい店々がいまだに並ぶ下町の風景。日本人の心の原点を見る思いで、何故かホッとする環境である。

塚本先生はこの街で開業以来15年。今では脂の乗り切った中堅医師として、区歯科医師会はもとより、社保審査委員として大活躍。講演指導を初めとして会の仕事に年間200日以上を費やされているという多忙さ。が診療も絶対手抜きをしないという方針で、医院過剰時代にもかかわらず、患者数も医師3名で1日70名と、患者さんには多大な信頼を受けている医院である。

今回は、この公私共に超多忙な先生のもとで働く3人の女性スタッフをご紹介します。

初めは、当院で衛生士として8年目に入っ

た山口さん。学校は日本大学松戸歯学部附属歯科衛生士専門学校の卒業。下町っ子にもかかわらず、伏し目がちに話す話し振りは、けっして饒舌ではないが、一口一口を考えながら話す口調には、やはりベテランらしい落ち着きがある。主な仕事は刷掃指導を中心とした患者介補。この職業を選んだ動機を「高卒時、先生から君の希望しているこんな職業があるから進んでみないか、と云われ衛生士学校へ」。現在の心境は？「この仕事は、長く勤め、内容を知れば知るほど、学生時代思っていたより大変な職業だな、と思いますね。でも、自分の性格に合っておりますから、なるべく長く続けたいし、又、結婚しても、衛生士としての資格があれば再就職にも有利ですし、選んで良かったと今では思っております」。周辺に歯科医院は多いと聞いていますが、貴女の立場から何故この医院はこれ程患者さんが多いと思われるか？の質問に「やはり院長の方針一患者さんにとって、安心できる歯科医院であることと、院長先生の個性が、お互いの信頼関係を結ぶ雰囲気を持っているからなのではないかと思います」。しかし、それだけにそこで働く貴女は大変でしょう？「え、6時半に受付は終了しますが、どうしても遅くなって、帰るのは毎夜8時頃。先生も頑張っておられますし、患者さんも多いので時間にピッタリ終るということは出来ませんが、でも時々ちょっと疲れます」と正直である。この辺りが、ドクターと患者さん、その板ばさみになる苦しさ、又若い方達が時として悩む本音であろう。そのストレス解消法は？「カラオケかしら…。医

院の皆さんと時々行くんです。レポートリーは山口百恵と中森明菜です」と最後はニッコリ微笑んだ。

次にご紹介するのは受付を担当される渡辺さん。高卒後すぐこの職業に入り、途中、ご本人に云わせれば、出たり入ったり、ということであるが、既にこの道15年という大ベテラン。山口さん同様当院の魅力について質問してみた。「とにかく院長がやさしいんです。それと、本当に相手の立場にたつて物事を考えてあげることが患者さんに信頼されるみたいですね。患者さんも新しい歯科医院が出来るとアチコチと回るみたいですが、結局又戻って来ますから…。その点は下町でもあまり保守的じゃありませんよ」。受け付けとして心掛けていることは？「初めの頃はニコヤカに対応を…と心掛けていましたが、患者さんが多過ぎて、今ではそんな余裕ありません。とにかく患者さんが待合室からあふれてしまうぐらいでハンパじゃありませんから(笑)」。こちらは受け付けという仕事のせいもあるんでしょうが、下町っ子そのまゝの明るさだ。困る患者さんは？「え、おります。自分1人がこの医院の患者とと思っているんでしょうか、とにかく我がままなんですよね。女性で40代後半の人に多いですよ。マンガのオバタリアンって、50代の終り頃の人でしょ。でもこの辺はちょっと早い(笑)。男性にはほとんどそうした我がまを云う人はいないですよ(笑)」お休みは「一日ボーッとしています。毎日何十人の人に会いますから、もう人には会いたくない、という心境で…。でも近頃は、これでも院長が会

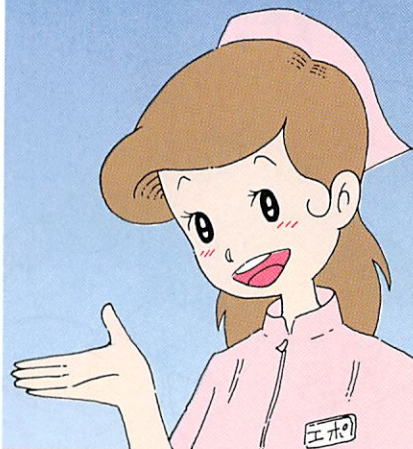


# アシスタント のための 診療室の手引き



定価6,180円  
(本体6,000円)

アシスタントとしての心構えから話し方、患者さんへの対応の仕方、会計、消毒、手渡し技術等々をわかりやすく解説。また、簡単な機械のメンテナンスも図付で説明。アシスタントのノウハウを詰め込んだ一冊です。



※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。

長田電機工業(株)/顧客センター

〒141 東京都品川区西五反田5-17-5

☎03(492)7651(代)

でほとんど毎夜出掛けますので、早く終るよ  
になったんですよ(笑)」。歯切れの良い返事。話していても面白い。寅さん人情がまだまだ生きていて心強い!?

最後にご登場はアシスタントの古谷さん。美容学校を出て4年間勤めたが、この道に転職されたという変り種(?)。「10年前にこの医院でアルバイトをしたことがあって、転職後、2ヶ所の歯科医院に勤めましたが、出戻って来ました(笑)。3年半程こゝに勤めておりますが、今は毎日が夢中で、もう面白いという職業時期は過ぎてしまいました(笑)」。クルクル回る大きな目と人なつっこい笑顔が印象的だ。アシスタントとして心掛けている点は「やはり先生が次にやることを先に察して、早め早めに器材、その他を用意することですね」。当院、ということではなく、歯科医院に働く女性が転職又は他院に移ろう、という動機は主にどんな場合ですか? 「う〜ん…。職場内の人数があまり多くありませんので、チームワークというんですか、同僚との間が気まづくなると、他に逃げ場がないだけに、一番悩みますね。院長がリーダーとして尊敬できると共に、仲良くやれる雰囲気を作り出してくれますと、スタッフにとっては有難いですね。やはり楽しく働ける。これが私達にとって一番大切なんです。カラオケの持ち歌は「松任谷由美と岡村孝子」ボーイフレンドは「たくさんいます(笑)、でも結婚は当分先」サキに力が入ったところが気になったが、職場ではテキパキと活動的に働くアシスタントさんであることは間違いなさそうだ。



## 院長 塚本 亨

### 〈院長から一言〉

医療砂漠という言葉をよく耳にしますが、私は相手が業人であることを医師が認識し、常に患者の身になって話し、自分が患者になったつもりでお互いの理解を深める努力を心掛けていれば、こうしたことは避けられると思います。当院は予約制を採っておりますが、治療内容によりその時間内で確実に終わるとは限りません。そうした場合でも、スタッフが一期一会の気持を大切に、丁寧に事情を説明すれば、トラブルは起きません。私も当院のリーダーとして、医療の公共性に最重点を置いておりますが、時として医療と医業の狭間に悩むことがあります。その辺が、院長とそこで働くスタッフの方々の理解、意識の差なのではないでしょうか。

ご覧のように、当院はドクターと女性の数がちょっとアンバランスで、その点仕事量が多く時にはキツイと思いますが、皆さん私の気持を良く理解してくれまして、一生懸命頑張ってくれ感謝しております。

# 診療室訪問シリーズ

SMILY Fine スマイリーファイン

型



製造承認番号01B第0296号



## 滝沢歯科医院

東京都昭島市松原町4-11-11 ムサシビル2F

院長 滝沢伸行

(日本大学歯学部卒・31才)

シンプルなイメージは患者さんに安心感を。  
性能の確かさはドクターに信頼感を。  
どこをとっても特出したユニットですね。

青梅線・拝島駅は八高線、五日市線他5つの線が扇状に分かれる立川以西の主要駅。行楽期の賑わいはもとより、都心にも1時間で行ける近さから、近年急速に丘陵地が開発され、郊外住宅地へと変貌を遂げている。この駅前商店街を2〜3分行くと、真っ白くひとときモダンなテナントビルが目にとまる。ご紹介の滝沢歯科医院はその2階にある。室内は白、黒、グレーを中心とした、都会派好みの配色。4台のスマイリーファインが並ぶ窓からは、晴れた日には、秩父・多摩の連山とその彼方には富士の雄姿も望まれるという。スタッフも又患者さんにとっても快適な診療所である。

院長は卒業後大学院で歯科法医学を4年間勉強。学位を修得すると共に現在も研究の為に週1回母校の法医学教室に通われているという努力家。

「個人識別における歯科法医学の重要性は以前から知られておりましたが、5年前の日航機事故や、最近の幼女誘拐事件などで、マスコミに度々取り上げられるにつれ、その社会的役割が一般に注目されるようになってきました。私は一開業医としてスタートしましたが、これまでの経験が、今後、何かのお役に立てられればと思います。」

開業時から僅か半年余りであるが、青



年医師らしい明るさと卒直さが好感を呼ぶのか、患者数は多い。

勤務医時代オサダの機械を使って、その使い良さには驚いていました。このヘアインは最新のユニットということ…。デザイン、色、機能性等どれをとっても素晴らしく、見た途端決めてしまいました。シンプルなイメージは患者さんに安心感を、性能の確かさはドクターに信頼感を、その双方を具えたユニット。特出しておりますね。又初代にとって、とかく不安な開業を親身になつてお世話下さるオサダの担当員。これらぜひお知らせしたいですね(笑)。